

武蔵野市気候市民会議

# テーマ別参加者アンケートの結果

【令和4年11月22日版】

## 目次

<b>1 アンケート第1部の結果</b> .....	<b>1</b>
1-1 第2回テーマ「モノを買う・使う・手放す」 .....	1
(1) 武蔵野市民が積極的に取り組むべき .....	1
(2) 取組の難易度 .....	1
1-2 第3回テーマ「動く・働く(学ぶ)・遊ぶ」 .....	2
(1) 武蔵野市民が積極的に取り組むべき .....	2
(2) 取組の難易度 .....	2
1-3 第4回テーマ「住まいのエネルギー」 .....	3
(1) 武蔵野市民が積極的に取り組むべき .....	3
(2) 取組の難易度 .....	3
<b>2 アンケート第2部の結果</b> .....	<b>4</b>
<b>3 全体傾向</b> .....	<b>5</b>
(1) 第2回テーマ「モノを買う・使う・手放す」 .....	5
(2) 第3回テーマ「動く・働く(学ぶ)・遊ぶ」 .....	7
(3) 第4回テーマ「住まいのエネルギー」 .....	9
<b>4 取組が難しいと考える理由</b> .....	<b>11</b>
(1) 第2回テーマ「モノを買う・使う・手放す」 .....	11
(2) 第3回テーマ「動く・働く(学ぶ)・遊ぶ」 .....	21
(3) 第4回テーマ「住まいのエネルギー」 .....	28

## ■アンケート回答に対する配点について

### 第1部アンケート

「武蔵野市民が積極的に取り組むべき」（7段階）、「取組の難易度」（5段階）の回答を基に点数に直し、行動ごとに回答者の平均点を求めました。

#### 第1部アンケートの配点基準

武蔵野市民が積極的に取り組むべき							取組の難易度														
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5										
取り組む必要はない							簡単					普通					難しい				
取り組むべきである							どちらともいえない														

### 第2部アンケート

「取り組みたい」と考える行動の順位を点数に直し、行動ごとに回答者の平均点を求めました。

#### 第2部アンケートの配点基準

1位	2位	3位
10点	5点	2点

# 1 アンケート第1部の結果

## 1-1 第2回テーマ「モノを買う・使う・手放す」

### (1) 武蔵野市民が積極的に取り組むべき

各行動の各点数を選択した人数は、図1に示すとおりです。

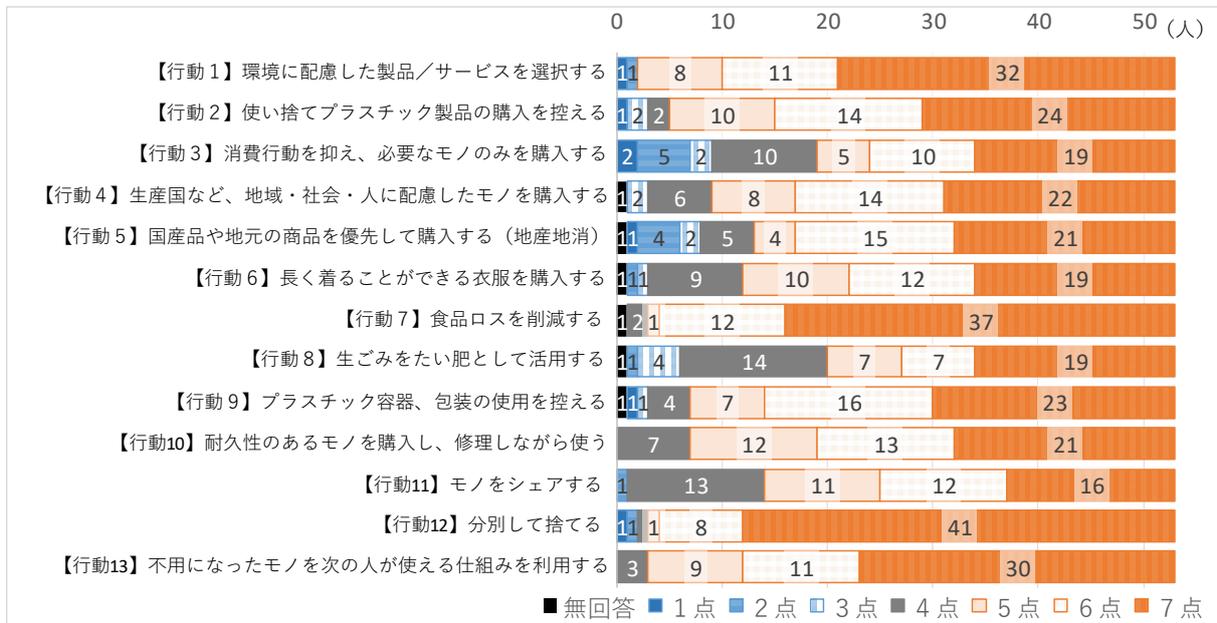


図1 武蔵野市民が積極的に取り組むべき（第2回テーマ）

### (2) 取組の難易度

各行動の各点数を選択した人数は、図2に示すとおりです。

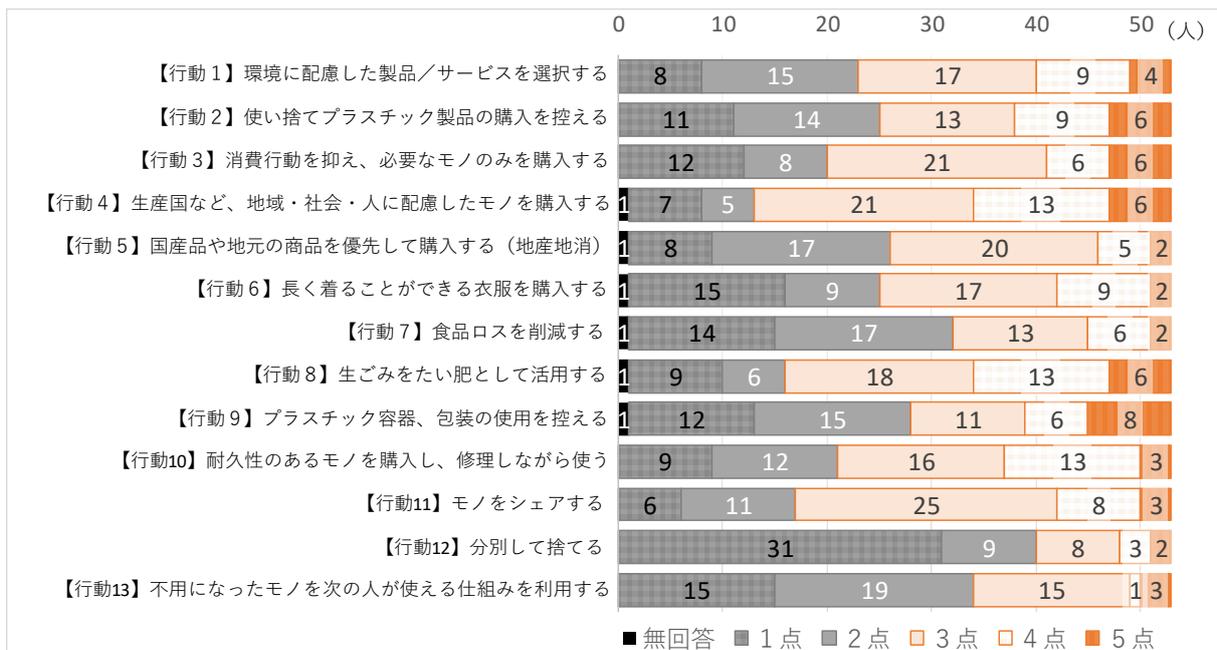


図2 取組の難易度（第2回テーマ）

## 1-2 第3回テーマ「動く・働く（学ぶ）・遊ぶ」

### (1) 武蔵野市民が積極的に取り組むべき

各行動の各点数を選択した人数は、図3に示すとおりです。

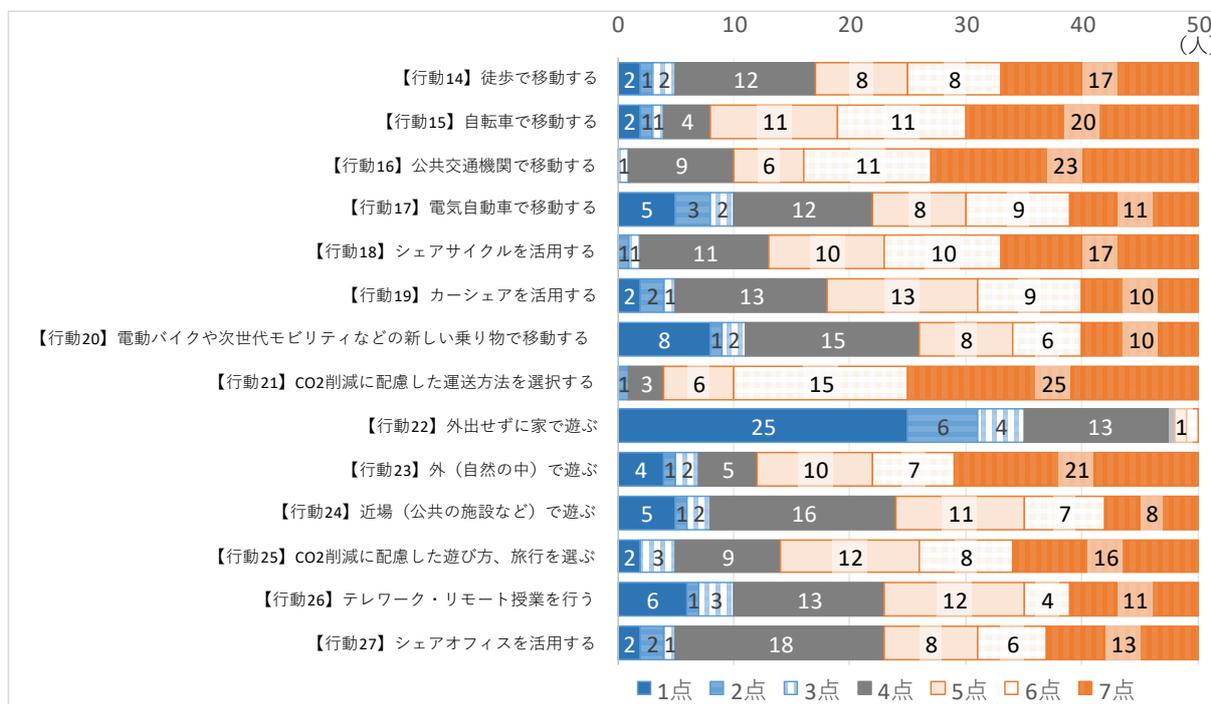


図3 武蔵野市民が積極的に取り組むべき（第3回テーマ）

### (2) 取組の難易度

各行動の各点数を選択した人数は、図4に示すとおりです。

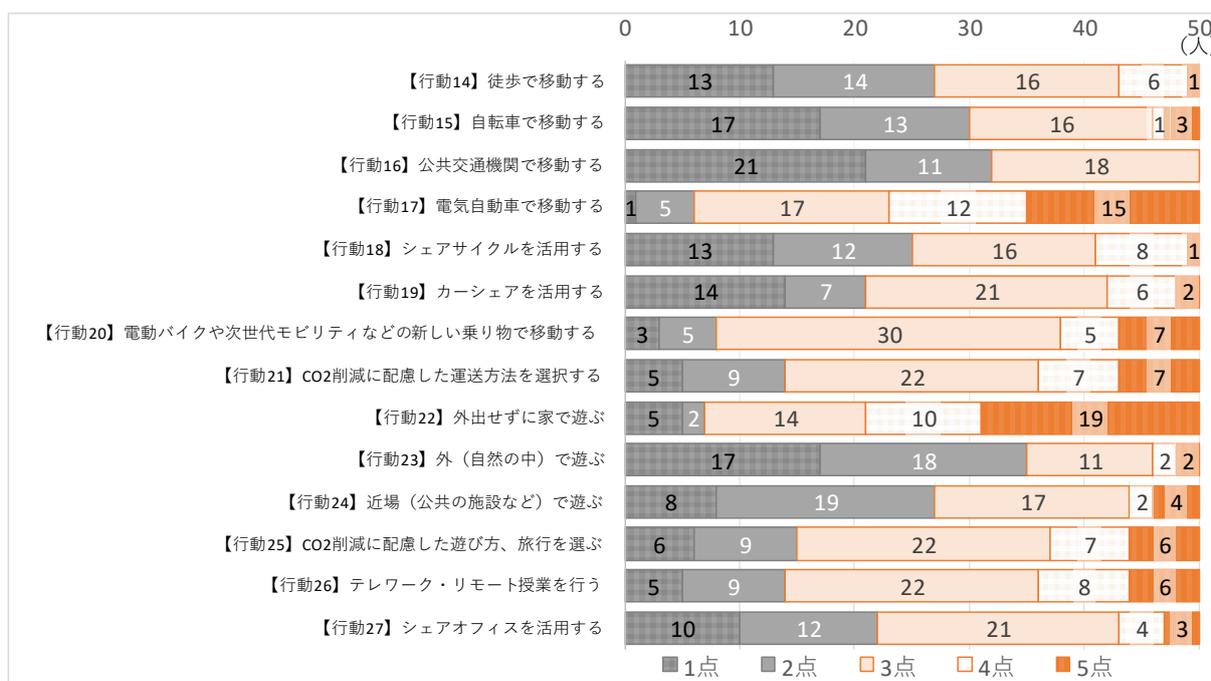


図4 取組の難易度（第3回テーマ）

## 1-3 第4回テーマ「住まいのエネルギー」

### (1) 武蔵野市民が積極的に取り組むべき

各行動の各点数を選択した人数は、図5に示すとおりです。

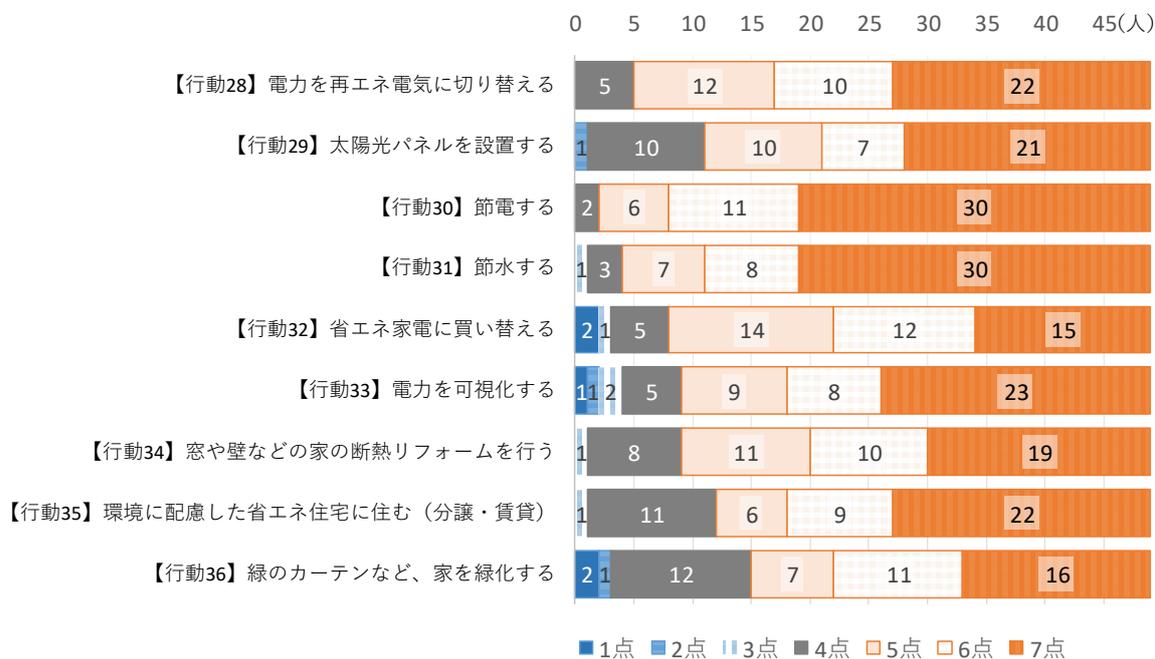


図5 武蔵野市民が積極的に取り組むべき（第4回テーマ）

### (2) 取組の難易度

各行動の各点数を選択した人数は、図6に示すとおりです。

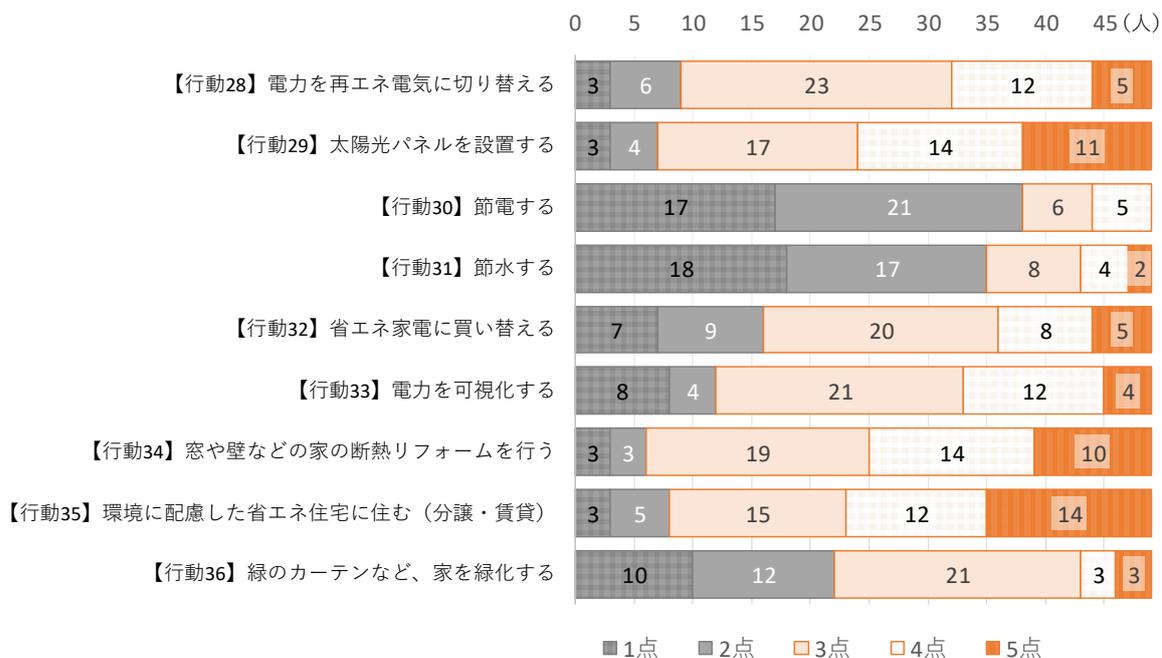


図6 取組の難易度（第4回テーマ）

## 2 アンケート第2部の結果

「あなたが取り組みたいと考える項目」による順位付けの結果を点数化した結果は、図7～9に示すとおりです。



図7 あなたが取り組みたいと考える項目：第2回テーマ「モノを買う、使う、手放す」



図8 あなたが取り組みたいと考える項目：第3回テーマ「動く・働く（学ぶ）・遊ぶ」



図9 あなたが取り組みたいと考える項目：第4回テーマ「住まいのエネルギー」

### 3 全体傾向

#### (1) 第2回テーマ「モノを買う・使う・手放す」

各行動に対する各項目の平均点等は、表2に示すとおりです。

「武蔵野市民が積極的に取り組むべき」と比較的上位に挙げられたのは、行動1・7・12・13でした。

「取組の難易度」について、比較的上位に該当するものはありませんでしたが、第2回テーマの中で難易度が最も高いとされたのは、行動4「生産国など、地域・社会・人に配慮したモノを購入する」でした。

「あなたが取り組みたい」とされた行動のうち、比較的上位とされたのは行動1・3・7でした。行動1「環境に配慮した製品／サービスを選択する」や行動7「食品ロスを削減する」については、武蔵野市民が取り組むべきものの上位に挙がっています。

行動3「消費行動を抑え、必要なモノのみを購入する」は、あなたが取り組みたい行動の中で最も値が高かったものの、武蔵野市民が積極的に取り組むべきものとしては、上位に位置付けられない結果となっています。

表2 行動ごとの平均点（第2回テーマ）

行 動		武蔵野市民が積極的に取り組むべき (平均点)	取組の難易度 (平均点)	あなたが取り組みたい (配点基準に基づく得点)
1	環境に配慮した製品／サービスを選択する	6.28	2.74	110
2	使い捨てプラスチック製品の購入を控える	5.98	2.72	79
3	消費行動を抑え、必要なモノのみを購入する	5.21	2.74	139
4	生産国など、地域・社会・人に配慮したモノを購入する	5.81	3.06	60
5	国産品や地元の商品を優先して購入する（地産地消）	5.51	2.49	55
6	長く着ることができる衣服を購入する	5.58	2.45	21
7	食品ロスを削減する	6.49	2.28	110
8	生ごみをたい肥として活用する	5.28	2.96	17
9	プラスチック容器、包装の使用を控える	5.89	2.62	29
10	耐久性のあるモノを購入し、修理しながら使う	5.91	2.79	48
11	モノをシェアする	5.53	2.83	6
12	分別して捨てる	6.55	1.79	97
13	不用になったモノを次の人が使える仕組みを利用する	6.28	2.21	62

【網掛け凡例】

- ・武蔵野市民が積極的に取り組むべき（平均点）：6点以上（比較的上位）
- ・取組の難易度（平均点）：3.5点以上（比較的上位）
- ・あなたが取り組みたい（配点基準に基づく得点）：100点以上（比較的上位）

行動ごとのそれぞれの平均点を、縦軸と横軸にそれぞれ配置した図は、図 10 及び図 11 に示すとおりです。

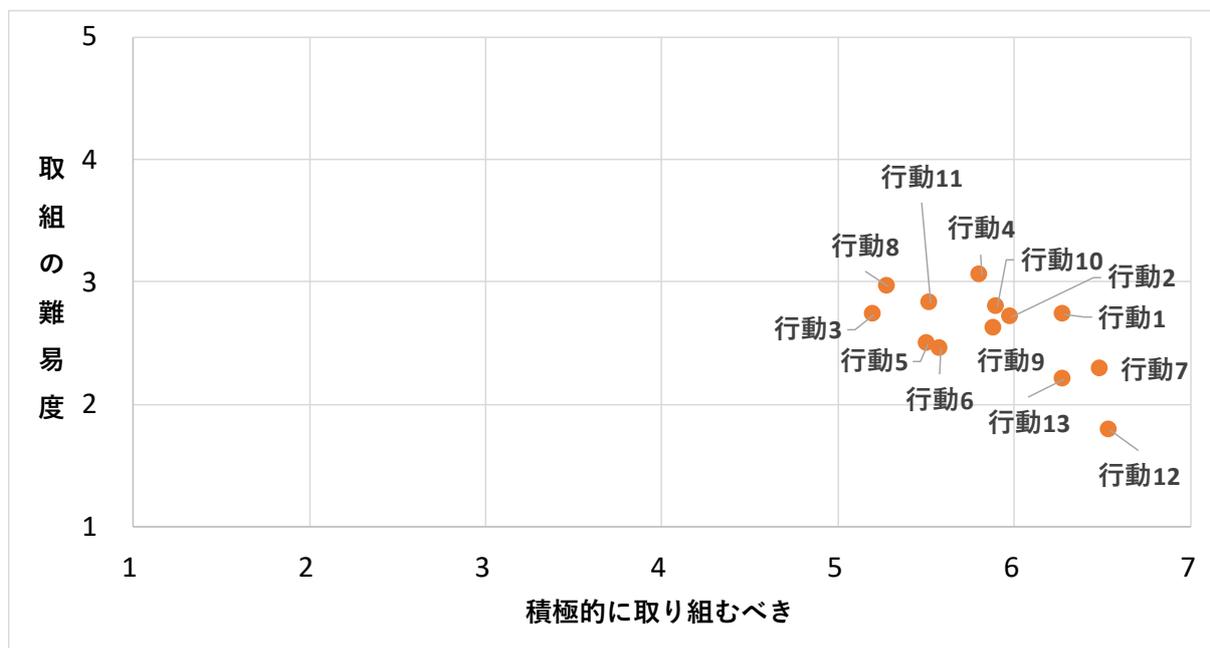


図 10 「積極的に取り組むべき」「取組の難易度」の平均点 (第 2 回テーマ)

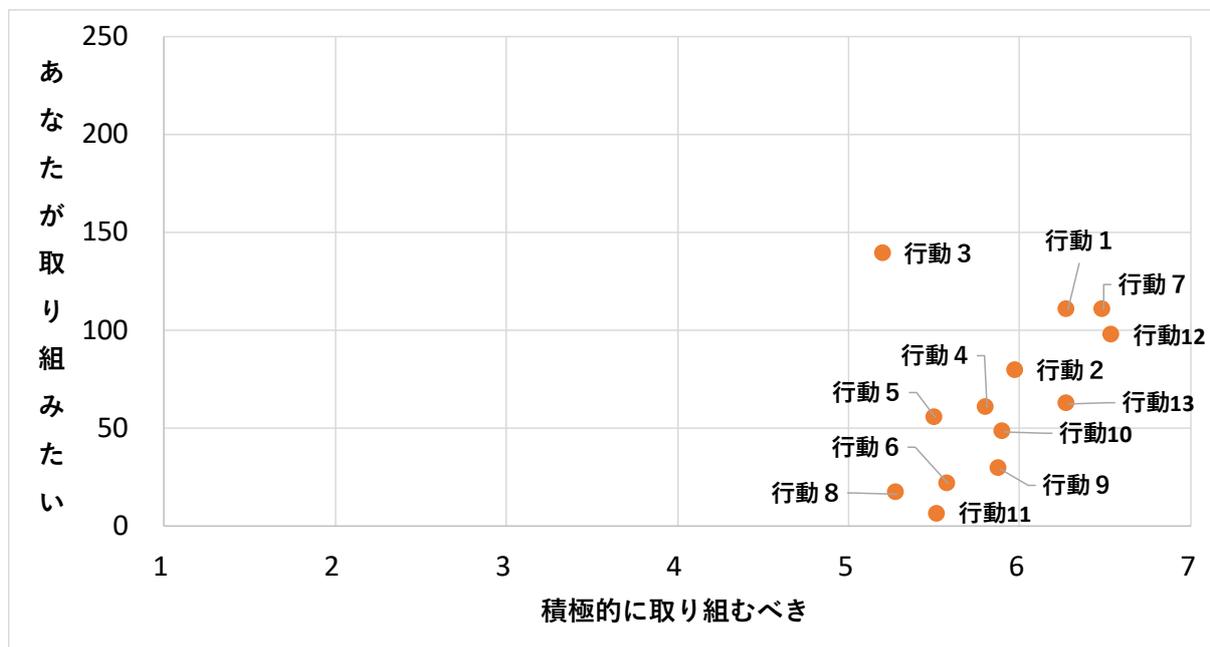


図 11 「積極的に取り組むべき」「あなたが取り組みたい」の平均点 (第 2 回テーマ)

## (2) 第3回テーマ「動く・働く(学ぶ)・遊ぶ」

各行動に対する各項目の平均点等は、表3に示すとおりです。

「武蔵野市民が積極的に取り組むべき」と比較的上位に挙げられたのは、行動21「CO<sub>2</sub>削減に配慮した運送方法を選択する」でした。

「取組の難易度」が比較的高いとされたのは、行動17「電気自動車で移動する」や行動22「外出せずに家で遊ぶ」でした。

「あなたが取り組みたい」と比較的上位に挙げられたのは、行動14・15・16で、徒歩や自転車、公共交通機関で移動するといった、日常に行われている行動となりました。

表3 行動ごとの平均点(第3回テーマ)

行 動		武蔵野市民が 積極的に取り組むべき (平均点)	取組の 難易度 (平均点)	あなたが取 り組みたい (配点基準に 基づく得点)
14	徒歩で移動する	5.30	2.36	151
15	自転車で移動する	5.68	2.20	225
16	公共交通機関で移動する	5.92	1.94	156
17	電気自動車で移動する	4.72	3.70	25
18	シェアサイクルを活用する	5.56	2.44	12
19	カーシェアを活用する	5.00	2.50	21
20	電動バイクや次世代モビリティなどの新しい乗り物で移動する	4.44	3.16	22
21	CO <sub>2</sub> 削減に配慮した運送方法を選択する	6.18	3.04	22
22	外出せずに家で遊ぶ	2.24	3.72	0
23	外(自然の中)で遊ぶ	5.42	2.08	62
24	近場(公共の施設など)で遊ぶ	4.60	2.50	20
25	CO <sub>2</sub> 削減に配慮した遊び方、旅行を選ぶ	5.34	2.96	22
26	テレワーク・リモート授業を行う	4.60	3.02	76
27	シェアオフィスを活用する	4.96	2.56	19

### 【網掛け凡例】

- ・武蔵野市民が積極的に取り組むべき(平均点): 6点以上(比較的上位)
- ・取組の難易度(平均点): 3.5点以上(比較的上位)
- ・あなたが取り組みたい(配点基準に基づく得点): 100点以上(比較的上位)

行動ごとのそれぞれの平均点を、縦軸と横軸にそれぞれ配置した図は、図 12 及び図 13 に示すとおりです。

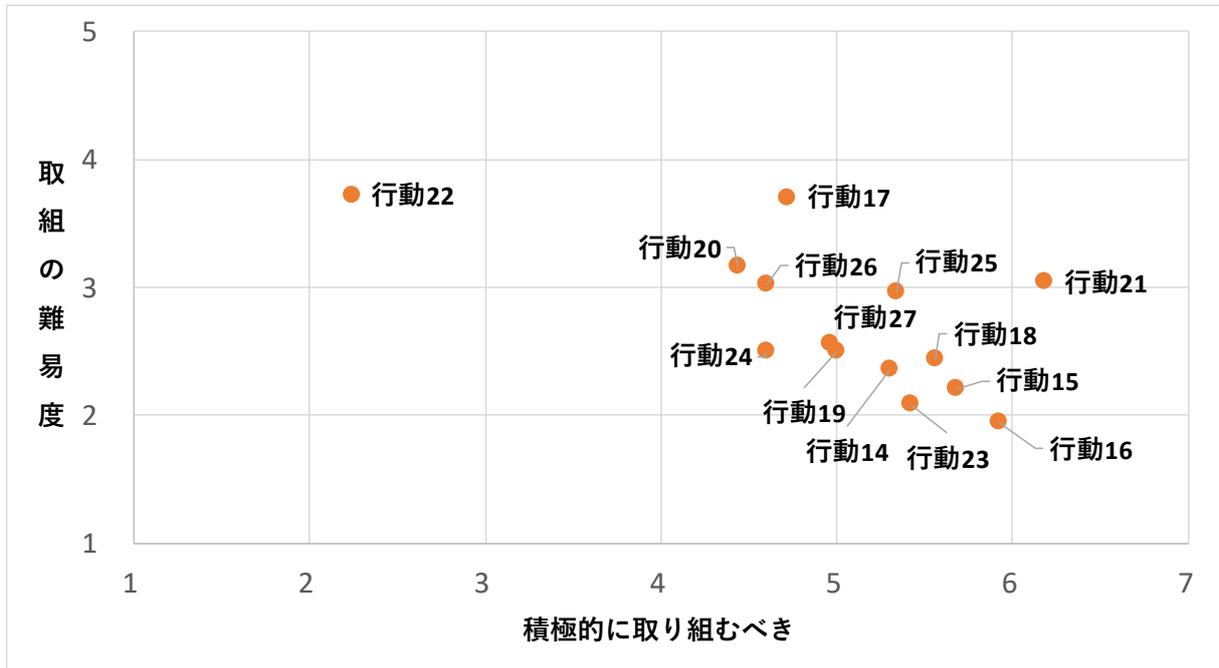


図 12 「積極的に取り組むべき」「取組の難易度」の平均点（第3回テーマ）

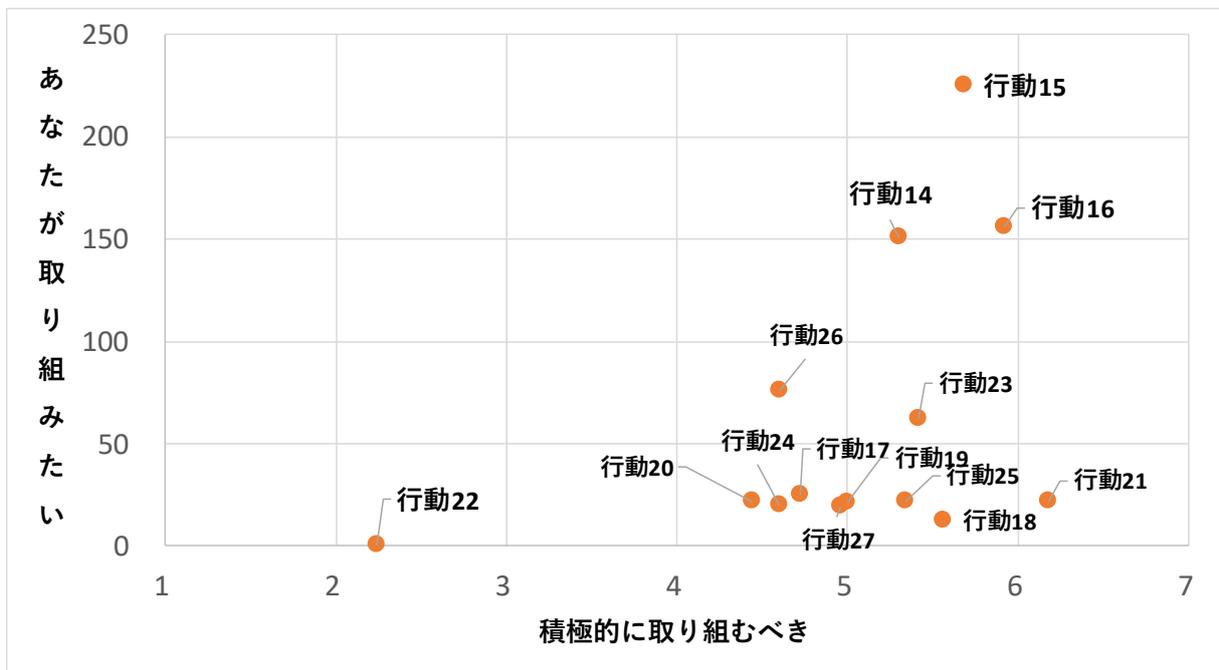


図 13 「積極的に取り組むべき」「あなたが取り組みたい」の平均点（第3回テーマ）

### (3) 第4回テーマ「住まいのエネルギー」

各行動に対する各項目の平均点等は、表4に示すとおりです。

各行動とも「武蔵野市民が積極的に取り組むべき」と挙げられました（いずれも5点代後半以上）。中でも、行動28「電力を再エネ電気に切り替える」や行動30「節電する」、行動31「節水する」は、特に上位に挙げられました。

「取組の難易度」が高いとされたのは、太陽光パネルや断熱リフォーム、省エネ住宅といった建物・設備に関わるもの（行動29・34・35）でした。

表4 行動ごとの平均点（第4回テーマ）

行 動		武蔵野市民が積極的に取り組むべき (平均点)	取組の難易度 (平均点)	あなたが取り組みたい (配点基準に基づく得点)
28	電力を再エネ電気に切り替える	6.00	3.20	116
29	太陽光パネルを設置する	5.73	3.53	81
30	節電する	6.41	1.98	225
31	節水する	6.29	2.08	106
32	省エネ家電に買い替える	5.55	2.90	76
33	電力を可視化する	5.78	3.00	76
34	窓や壁などの家の断熱リフォームを行う	5.78	3.51	48
35	環境に配慮した省エネ住宅に住む（分譲・賃貸）	5.82	3.59	80
36	緑のカーテンなど、家を緑化する	5.41	2.53	25

【網掛け凡例】

- ・武蔵野市民が積極的に取り組むべき（平均点）：6点以上（比較的上位）
- ・取組の難易度（平均点）：3.5点以上（比較的上位）
- ・あなたが取り組みたい（配点基準に基づく得点）：100点以上（比較的上位）

行動ごとのそれぞれの平均点を、縦軸と横軸にそれぞれ配置した図は、図 14 及び図 15 に示すとおりです。

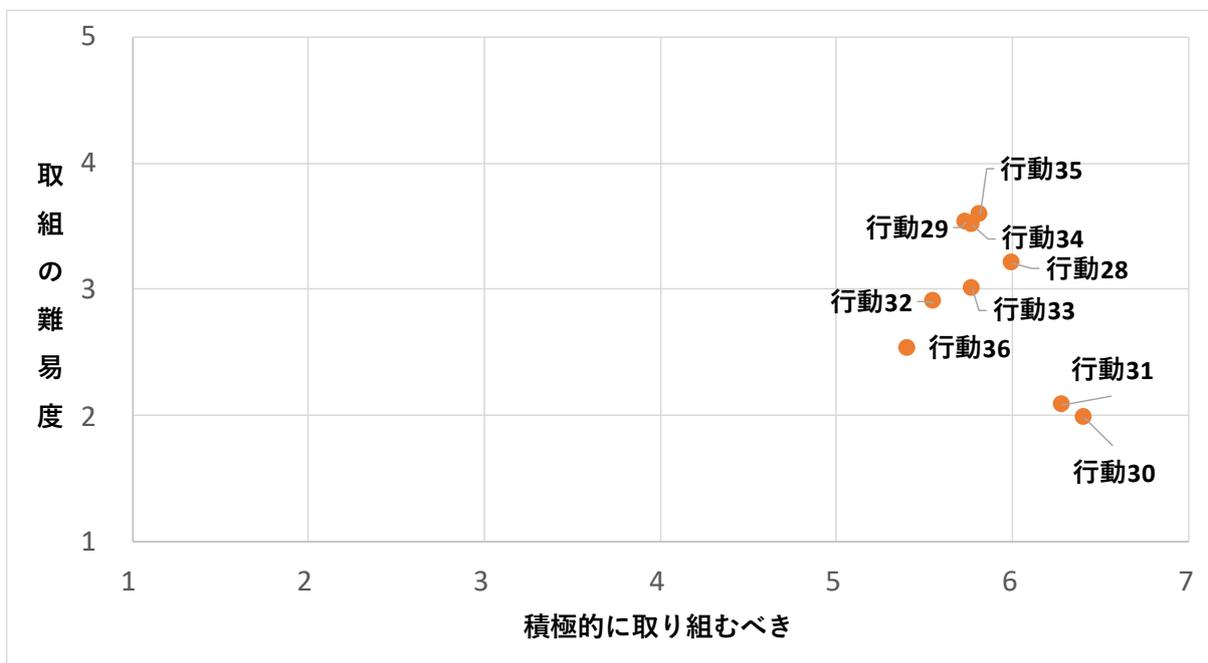


図 14 「積極的に取り組むべき」「取組の難易度」の平均点（第 4 回テーマ）

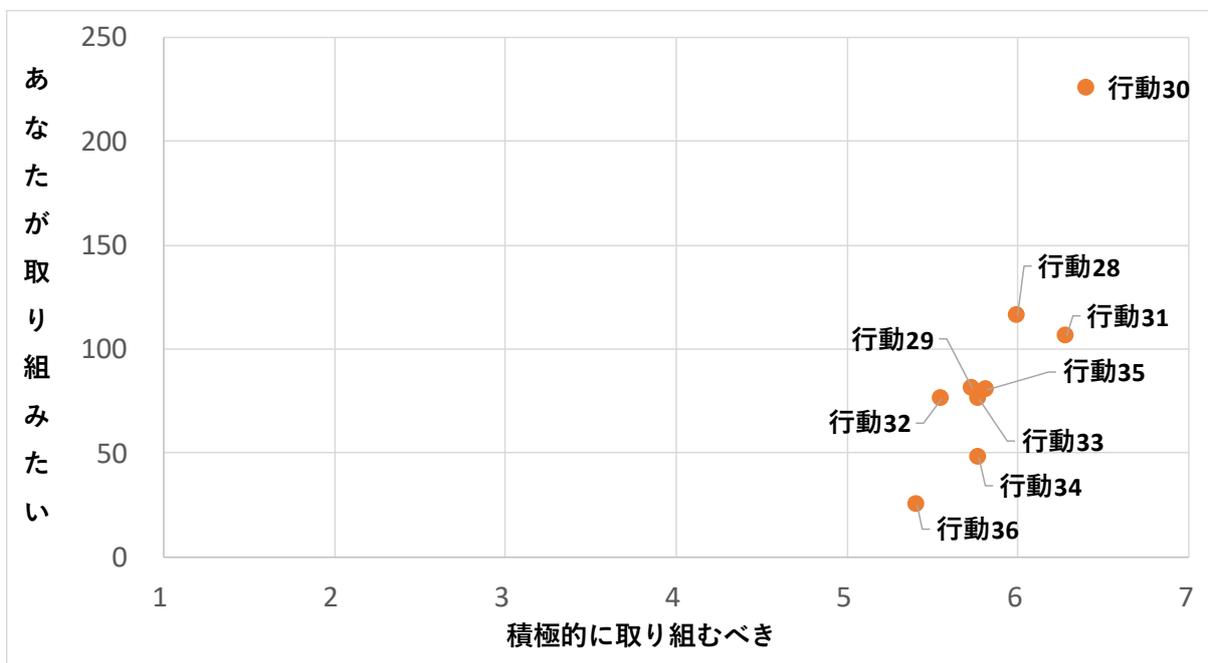


図 15 「積極的に取り組むべき」「あなたが取り組みたい」の平均点（第 4 回テーマ）

## 4 取組が難しいと考える理由

### (1) 第2回テーマ「モノを買う・使う・手放す」

各行動の取組が難しいと考える理由は、表5に示すとおりです。

表5 行動ごとの取組が難しい理由（第2回テーマ）

	理由（自由回答）
行動1 環境に 配慮し た製品 /サー ビスを 選択す る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 価格が高ければ選択が難しくなるから。</li> <li>・ 価格や満足度の面で競争力があるようにすることが、製品やサービスの課題。</li> <li>・ 普通の商品と全く変わらないのであれば、簡単であるが値段や性能に差があるのであれば難しいのではないかと</li> <li>・ コストが高くなる場合、選択を促すのは難しくなる。</li> <li>・ 一般製品に比べて価格が高いと、現在の経済環境の中では選択しにくい。</li> <li>・ 環境に配慮した商品サービスは、最近増えてきており、選択肢が広がっていると思います。一方でそのための追加コスト（有形無形の）については、市民全員が支払うことが出来るかどうか、懸念材料です。</li> <li>・ 消費者側は値段をよく見ていると思うので環境に配慮した製品にあまり需要がないかもしれませんが、それでも是非取り組んでほしいです。毎日何を買うにもプラスチックゴミがたくさん出てしまい精神的に疲れます。野菜や果物はなるべくプラスチックゴミが出ないように武蔵野市として取り組んでいただけるととても嬉しいです。元々昔はプラスチックを利用していなかったのですから、様々な工夫ができると思います。</li> <li>・ 価格が高い分、難しいと感じる人も多いかと思います。消費を吟味することは楽しみながら出来る限りでよいかと思えます。積極的に取り組むべきかと言われると、優先すべきはエネルギーの問題かと思えますので一般家庭に再エネなどのエネルギー切り替えが一番の課題と思えます。</li> <li>・ プラスチックバックを有料化したらマイバックが普及したように、何らかの経済的な動機付けが無いと関心の無い方々には伝わりにくいと思う。</li> <li>・ 多忙な日常や経済的なことを考えると、全て達成出来ないと感じる</li> <li>・ 環境への配慮について、製品を販売する会社が騙そうとすることが多くて効果的に選ぶのが難しいです。個人で実行するのが困難だと思われま。</li> <li>・ 製品選択において、機能とカーボン産出量と価格のバランスをどのようにとっていけばいいのか、消費者が知りえる情報量が少ないと思う。</li> <li>・ 購入時に経済的負担増になるときは公的助成制度などがあったほうが良い</li> <li>・ 各世帯の所得の差による取り組みの困難性に行政がどこまで対応できるか？</li> <li>・ 環境問題に危機感を感じている個人差があるから</li> <li>・ 価格や好みなど、環境への配慮以外の価値観を強く持つ消費者もいるため。</li> <li>・ 何を重視するか人それぞれだから。</li> <li>・ 個々の考え方や生活環境が、違うからです。</li> <li>・ 購入する商品がどの程度カーボンゼロに貢献しているのかが一目でわからない。商品ごとにカーボン産出量をラベリングするなどの規制を行い、消費者が選択可能にするといいいのではないだろうか？</li> <li>・ 無農薬食品、無添加食品など、健康を考慮した食品を購入したいが、それらの商品の選択とカーボン産出の関係がわからない。もしも、健康に配慮した食料品を選べるとカーボン産出が増えるとする、どちらに価値を置くべきか、悩ましい選択になるのではないかと</li> <li>・ 先行事例がないこと</li> <li>・ 武蔵野市オリジナルを創出する時間と手間がかかること</li> <li>・ 購入する市民の意識も大事だが、製品をつくる企業が環境に配慮した製品を作れるかが大きな課題。</li> <li>・ 市販の商品・製品が少ない</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>小売業者の協力</b>が得られるか？</li> <li>・ 今やっていることが10年先20年先に必ずしも<b>正しい結果</b>となるととは限らない。EV化などは最たるもの、レアメタルの使用については講師の先生も今後の技術開発に期待することを認めておられた、1970年代の原子力利用の期待と同じことになる可能性がある。</li> <li>・ きちんとした<b>認証機関</b>等がないと、環境に配慮していることを<b>確認</b>するのが大変になるかもしれません。</li> <li>・ <b>フェアトレードタウン</b>などのように市が宣言して牽引する必要がある</li> </ul>
<p>行動2</p> <p>使い捨てプラスチック製品の購入を控える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラスチック製でないものが<b>あまり売っていない</b>から。</li> <li>・ 使い捨てプラスチックを使っていない製品がそもそも<b>選択肢</b>になっていないケースが多いです。</li> <li>・ 食料品や日用品といった身近なものは<b>プラスチックありの商品が主力</b></li> <li>・ プラスチック製品が<b>多すぎる</b></li> <li>・ マイボトルを持つことでまずはペットボトルの消費を抑えることは割と簡単にできることかと思えます。現状ペットボトル製品が<b>多すぎる</b>というのが難しい問題かと思えます。</li> <li>・ プラスチック製品があまりに多いのに対して<b>買わずに済ませる手段が少なすぎる</b></li> <li>・ <b>代替品</b>がないと難しい</li> <li>・ 現状ではないほとんどの物がプラスチックで<b>包装</b>されているため</li> <li>・ コンビニ、スーパーなどの製品には最初から梱包に使用されていて、消費者に<b>選択の余地がない</b>場合が多いから</li> <li>・ 極力水筒などを持参するようにしているが、出先で<b>買わざるを得ない</b>ことなどもある。</li> <li>・ 「使い捨てプラスチック」になるか否かが<b>分かりにくい</b>。プラスチック代替製品は、デザイン性の面で相当な<b>工夫が必要</b>。</li> <li>・ 消費者側というよりは、<b>メーカーや販売店側</b>でプラスチックを使わない方法を提供いただくのがよいのではないかと思う。もちろん、2つの製品があり、一方がプラスチックを使っていないとしたら、そちらを選ぶのは必然だと思う。</li> <li>・ 購入者だけの問題ではなく、<b>製造業者（販売者）の協力</b>が不可欠だから</li> <li>・ <b>リサイクル率</b>があがることと、その回収率で、控えることなく、<b>循環</b>の選択をとりやすいまちづくりも必要。</li> <li>・ ファストフード店が紙製ストローなどの使用に切り替えるとのこと、先日までの「割りばし論争」は何処へ行ったのか、結局今の<b>便利さを手放したくない</b>だけでは？ 結局マスコミの論調に流される。</li> <li>・ ペットボトルなど、<b>再利用</b>のルートが確立されている商品はいいが、再利用可能な様にうまく分解できない商品（容器）を選択せざる得ない場合もあるため、<b>法制化</b>が必要だと思えます。</li> <li>・ プラスチックの方が便利で安価なこともあるだろうから、どのような製品を不要にするかの<b>線引きが課題</b>だと思えます。</li> <li>・ ペットボトルなどは<b>便利で買ってしま</b>うため。</li> <li>・ 総菜屋などで使われ続ける<b>プラ容器</b>の扱いをどう位置付けるかが難しい</li> <li>・ <b>買いたいもの</b>が何かによるからです。</li> <li>・ プラスチック製品は便利であり、紙ストローなど代替品の実用性に疑問を持つ人も多い。多くの人に実施してもらうには、「環境へ配慮できる」以外の<b>インセンティブ</b>や、市内の店舗では使い捨てプラスチック製品を禁止する、などの<b>規制</b>が必要だと思う。</li> <li>・ まだ市民の<b>意識</b>が薄いと考える</li> <li>・ お菓子やお肉などは難しいかもしれないが、野菜や果物など減らせる部分は減らしていき、容器を持っていくと<b>中身を入れてくれる店</b>ができると良いと思う。プラスチックはリサイクルできるから使ってもいいやと思う人が結構いると思うが実際にプラスチックはきちんとリサイクルされているのはごく一部である。そのようなプラスチックリサイクルの<b>真実</b>を伝える勉強会などをひらけば<b>理解</b>が深まると思う。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペットボトルを含めたビッグ4（ペットボトル、ビニール袋、紙コップ、ストロー）などの<b>消費を抑える</b>ことは必須。責任のある消費が市民には求められる。便利よりも環境に配慮していることの<b>価値観</b>をあげることが求められる。併せて提供する側のモラルの向上が必須。</li> <li>・ <b>危機感</b>を感じているか<b>個人差</b>がある</li> </ul>
<p><b>行動3</b></p> <p><b>消費行動を抑え、必要なモノのみを購入する</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に必要かどうかを<b>判断</b>するのは人間にとって難しいです。広告が溢れる現代社会では思わずに説得されることが多いのではないのでしょうか。</li> <li>・ 政府の経済対策は常に<b>需要喚起</b>なので、そこから変える必要がある。また、「精神衛生上必要な買い物」を必要と考えるか不必要と考えるか、難しい問題である。</li> <li>・ 何が<b>必要かの判断</b>は、ひとそれぞれだから（意識の変革が必要？または、幼少期からの教育？）</li> <li>・ 常々、必要なもののみを購入するように努めている。一方、例えば災害や防災の備蓄量をどの程度準備すべきかという、個人個人の生活環境に依存し、正解は無いように思う。つまり、必要なモノと量を<b>最適化</b>する個々の環境に依存しているので難しいのではないか。</li> <li>・ 「必要なもの」は<b>人によって異なる</b>ので、一律に何を減らせとは言えないのでは。</li> <li>・ これには、<b>リユース</b>の文化を育てることが重要な気がする。</li> <li>・ 消費行動を変えることは<b>ライフスタイル</b>を変更する事なので、<b>反発</b>が大きいと史料。</li> <li>・ <b>所得格差</b>が発生する</li> <li>・ 良く考えて物を買う、私たちの<b>世代</b>にとっては難しくない</li> <li>・ 消費＝生産であるため、<b>経済へのインパクト</b>を考慮すると、単純な消費削減は望ましくないのではないか、先ほどのQにもあったように、<b>環境配慮型</b>への消費シフトが優先事項かと思えます。</li> <li>・ 必要最小限にするのは大切だが、<b>モノが売れなくなる</b>のは避けないといけないのではないか。</li> <li>・ かえって<b>経済</b>がしぼんでしまいうとされるから</li> <li>・ 購入をしないと<b>経済</b>が回らないというジレンマがあると思う。私個人としては必要なものしか買っていないが、消費者社会において市民の<b>マインドセット</b>を変えるのは難しいのではないかと思う。武蔵野市内の<b>経済</b>をなるべく<b>直線型</b>の<b>経済</b>ではなく<b>循環型</b>の<b>経済</b>にする取り組みを増やしたらうまくいくのではないかとおもう。</li> <li>・ <b>ファストファッション</b>など、<b>トレンド</b>を重視して毎シーズン商品を買替えるという行動、またそれが<b>経済効果</b>をもたらすという考え方もあるため。</li> <li>・ 吉祥寺の<b>発展</b>に関わるのではないか</li> <li>・ 現行の<b>資本主義</b>経済では<b>ステークホルダー</b>間の<b>利害不一致</b>が大きいため。</li> <li>・ 本当は<b>積極的に</b>行動することがいいとは思いますが、人間、ついつい買ってしまいそうだからです。</li> <li>・ 地球環境のために、<b>個人の欲求</b>を抑える必要がある<b>取り組み</b>を、広めたり継続することは難しい。得をしたり楽しいと感じる<b>仕組み</b>が必要と思う。</li> <li>・ 必要なものを買う。買うならば<b>サーキュレーション</b>の輪に入っている者を購入すべきで、使い捨てはもつてのほか。5Rの考えのもとに購入を考え、買い換えるときに<b>ゴミ</b>にならないで、できる限り<b>資源</b>に還元できる<b>素材</b>で構成されたもの<b>を購入</b>する。</li> <li>・ 消費が<b>美德</b>とすりこまれている。</li> <li>・ 使い捨てで育った人が多い</li> <li>・ まだまだ常に<b>新しいもの</b>を消費する<b>価値観</b>が根強く、壊れても<b>直せる製品・メーカー</b>が<b>少ない</b>現状が問題かと思えます。修理が可能な製品を企業に求めることや、使えなくなってしまったものは<b>リサイクル</b>できる<b>仕組み</b>が必要かと思えます。</li> <li>・ 特に<b>子供のモノ</b>など<b>周囲</b>が持っているからと言う理由などで<b>買わざるを得ない</b>こともある</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品を作る側の環境配慮が求められる。安い判断材料ではなく、どれだけ環境に配慮しているかの<b>価値観</b>を重視して製品をつくるのが大事。素材や製品がゴミにならずに、リサイクルでき、できるだけ環境負荷の少ないサーキュレーションの中で製品ができていくのが大きなポイント。</li> <li>・個人の<b>価値観</b>に左右されるため</li> <li>・環境問題に<b>危機感</b>を感じている<b>個人差</b>があるから</li> </ul>
<p>行動4</p> <p>生産国 など、 地域・ 社会・ 人に配 慮した モノを 購入す る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>価格</b>が高ければ選択が難しくなるから。</li> <li>・そのようなモノは<b>料金</b>が高い場合があるので、定着が難しいのではないかと考える。</li> <li>・<b>金額</b>との兼ね合いが難しい</li> <li>・<b>性能、値段</b>が異ならないなら簡単だと思う</li> <li>・物価高の今、それでも日本は安いとは言うものの、<b>収入と釣り合わず</b>、気を回す余裕がなさそうだからです。</li> <li>・これも販売者に騙されることが多く、そもそも<b>選択できない</b>ケースがほとんどです。</li> <li>・配慮した製品の<b>選択肢</b>は必ずしも<b>多くない</b>から</li> <li>・地産商品を手に取る<b>機会が</b>少ない。</li> <li>・<b>トレーサビリティ</b>が<b>不明瞭</b>な商品も多いほか、ネットで調べる煩雑さもある</li> <li>・販売者が<b>必要な情報</b>（かつ信頼性のある情報）を付加する必要がある（または、消費者が情報を収集する必要がある）</li> <li>・全てが<b>表示</b>されるわけではない</li> <li>・判断に資する<b>正しい情報</b>の入手が難しい。</li> <li>・環境という面だけではなく、SDG'sにも対応していくべきであり、ぜひ取り組みたいと思います。一方で、商品やサービスについて、どの程度配慮されているのかの<b>情報が不足</b>していると思います。</li> <li>・製品にそのような<b>情報がない</b>場合が多いため、生産国、地域、社会、人に配慮した製品かどうかを知ることが難しい</li> <li>・どこでだれがどのように作られたモノかを、<b>分かるような製品</b>が増えると良いと思います。これも企業への働きかけが必要か、消費者・ニーズが変わる事など必要かと思っています。</li> <li>・前提として配慮したモノなのかどうか<b>容易に分かる</b>ようになっている必要がある</li> <li>・国や地域、社会での商品選択は大雑把には可能であるが、様々な<b>歪み</b>が入ってしまうのではないと思う。理想は人への信頼をもとにした商品選択で、生産者と消費者を結ぶ取り組みが増えると良いのだろうと思う。</li> <li>・<b>フェアトレード</b>理念や啓発には時間がかかりそう。</li> <li>・配慮する<b>基準作り</b>が、困難を極めると思料</li> <li>・現状この考え方はあまり広まっていないと思うので、市が積極的に広める必要がある。また、武蔵野市独自の<b>認証制度</b>などもあると市民が判断する<b>基準</b>がで取り組みやすいと思う。</li> <li>・販売店舗が<b>少なすぎる</b></li> <li>・電気や食品など<b>地産地消</b>する考えはとても大切。ロスが少ないうえ、環境負荷が少ないからである。一方で電気など武蔵野市で賄えないことが大きな問題で、原発や火力発電で得た電気をお金を払えば関係ないと思える企業や市民が問題であると感じている。各家庭や各企業が<b>再生可能エネルギー</b>で電気を賄い、必要にして足りるといったミニマムインパクトの基に使用をすることが大事。再生可能エネルギーに切り替えるのは必須だし、それを実現するための供給元を支援したり、武蔵野市自体が市民エネルギーを誘致したりすることが大事である。</li> <li>・それを選ぶことが難しい</li> <li>・多忙な日常生活でそこまで考える<b>余裕がない</b></li> <li>・環境問題に<b>危機感</b>を感じている<b>個人差</b>があるから</li> </ul>
行動5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>価格</b>が高ければ選択が難しくなるから。</li> <li>・生活に余裕があるならまだしも、生活がかかっている場合、国産品や地元の商品</li> </ul>

<p>国産品や地元の商品を優先して購入する（地産地消）</p>	<p>を優先して購入する（地産地消）ことは、<b>経済学的な比較優位の原理</b>から有効とは言えないから。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国産であっても、生産のインプットで輸入品を多く使うことがほとんどです。これで実際に<b>効果</b>を得られるのが想像しにくいです。</li> <li>・現在の生活様式では、<b>選択肢が限られる</b>。</li> <li>・地産商品を手にする<b>機会が少ない</b></li> <li>・武蔵野市で生産されたものを武蔵野市民が消費することは、とても大切だと思う。一方、消費するものを<b>すべて武蔵野市で生産することもできない</b>だろうから、難しさもある。</li> <li>・品物による</li> <li>・輸入品への依存は、<b>物価高</b>が後押しする。</li> <li>・武蔵野市は<b>消費都市</b>である、多少は出来ても生産地、生産国の立場もある、設問自体が多少愚問の間がある。</li> <li>・最近の円安で必ずしも国内産が高価なわけではないので、外国産しかない商品以外は、<b>比較的</b>取り組みが容易であると思います。また、極端な国産信仰は、<b>国内商品の品質の低下や非関税障壁</b>になるので、注意が必要かと思います。</li> <li>・その方がエコという<b>価値観</b>を広める必要がある</li> <li>・意識して地産地消を<b>習慣つけたい</b>ところですが、他に良いものがあればそちらに目がいってしまうのではないのでしょうか。</li> <li>・武蔵野市の<b>農家の野菜</b>などをうまく活用できるといいと思う。自分の食べているものや使っているものがどこからくるのかをより詳しくしれて安心できる。</li> <li>・特に<b>電気</b>。地方の原発や火力発電に頼っている現状は早急に改善すべき案件。</li> <li>・多忙な日常生活でそこまで考える<b>余裕がない</b></li> <li>・その方がエコという<b>価値観</b>を広める必要がある</li> <li>・環境問題に<b>危機感</b>を感じている<b>個人差</b>があるから</li> <li>・どこまで「優先」するかの<b>匙加減は人それぞれ</b>だから（全て国産（地産）は、限りなく不可能なのでは？）</li> </ul>
<p>行動6 長く着ることができる衣服を購入する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>価格</b>が高ければ選択が難しくなるから。</li> <li>・長持ちする服は手が届きにくい<b>価格帯</b>がほとんどであると考えため、若者は特に難しいと考える。</li> <li>・<b>価格面</b>での優位性がないと難しい</li> <li>・其のような商品は<b>値段</b>が高い街場合が多く、<b>経済的に</b>できにくい場合もある、また、そのような品質のお店が増えてくるのにも時間がかかりそう</li> <li>・長く着ることができる衣服は<b>値段</b>が高い</li> <li>・初期コストが安い衣服を売る<b>ファストファッション店の存在感が圧倒的</b>ですがこれを抑えて高品質の物を増やすことができれば<b>インパクト</b>が大きいでしょう。</li> <li>・<b>体格</b>が落ち着けば、長く着れるものを選択するのは容易だと思う。</li> <li>・<b>価値観</b>の違い（着られれば良い、とだけ考える人ばかりではない。）</li> <li>・難しくない、繕うことの手間を惜しまねば30年近く来ているシャツもある。</li> <li>・<b>子供服</b>等の、長く着用することが前提になっていない商品以外は、<b>お直しサービス</b>も利用すれば、取り組みは容易であると思います。</li> <li>・多くの人の立場で考えた際、<b>購入動機</b>の一番目となりうるか不明なため。</li> <li>・長く着れるものでなければ<b>古着市場</b>も活性しない</li> <li>・日本は流行に流される時代が終わってないような気がする。</li> <li>・ファストファッションに対する市民の考えの改善が必要と感じる。安いものに価値をおくのではなく、<b>環境配慮に価値観</b>を置く市民が武蔵野市で増えることが大事。フェアトレードむさしのさんのように市民が購入するものを吟味する必要があるし、製品を販売する側のモラルや規制があつていいと思う。武蔵野市が日本を率先してCO<sub>2</sub>の削減に取り組む自治体になってほしい。</li> <li>・アパレル産業が与える環境への悪影響は大きいので、少しでも優先度は高いと思います。愛着を持って長く着ることの<b>価値観</b>の浸透が課題かと思います。</li> <li>・個人の<b>価値観</b>に左右される。一般的にお直し代が高い。</li> <li>・環境問題に<b>危機感</b>を感じている<b>個人差</b>があるから</li> </ul>

<p>行動 7</p> <p>食品ロスを削減する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政が積極的にリードしなければ難しい</li> <li>・ 市民だけでなく<b>企業行政</b>も巻き込む必要があるから。</li> <li>・ 企業が作り過ぎない。足りないくらいで丁度いいと思う。<b>製品が溢れ過ぎて</b>いる。</li> <li>・ 市民レベル（家庭レベル）で実践することは、それほど難しくないので？<b>外食産業や食品販売</b>などからの食品ロスの減少は仕組みから変える必要があるのでは？</li> <li>・ 消費者はいつでも手にはいる便利さを優先したら実現は難しい。加工食品も野菜も陳列されずに廃棄されるものが多いので小売り事業者には<b>廃棄の制限</b>を儲けるべき。</li> <li>・ 必要にして足りる。必要以上の食品を作らない。フードロスは環境問題でもある一方社会問題でもある。フードロスがでるビジネスの形態に問題がある。何事もロスが出ることに<b>課税や規制</b>を行い、改善してほしい。</li> <li>・ 農家は捨てる野菜を子供食堂など福祉に使えるような<b>仕組みが充実</b>するべき</li> <li>・ ロスを削減する<b>仕組みづくり</b>が必要</li> <li>・ 難しい。現に我が家は、妻の努力もあり、賞味期限はあまり気にしない、ほとんど食品ロスを出していない</li> <li>・ <b>意識</b>の問題であるので、取組みが難しい理由が見当たらない。地方や、昔の人は、お客さんに対して食べきれない量を出すのが礼儀だと思っている人が居ましたが、徐々に減ってきていると思います。</li> <li>・ 毎日の献立を考えながらロスを削減することは実際に実行していますが、毎日忙しく働いている人たちにその<b>余裕</b>はあるぎ疑問です。</li> <li>・ 偽装はないか？期限をみながら、消費者が食品を安心して購入することができるように、社会全体で目を肥やす必要があるのではないかと思う。</li> <li>・ ラベリングが適切であるか？</li> </ul>
<p>行動 8</p> <p>生ごみをたい肥として活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンポストは<b>高い</b>ため、普及には<b>補助</b>が必要だから。</li> <li>・ どこまで<b>行政</b>が支援するか？（高齢者や共働き子育て世代などに対する緩和策など）</li> <li>・ 農場などに輸送する必要があつて実際に<b>メリット</b>があるかどうかをしっかりと<b>計算</b>する必要があります。</li> <li>・ 町中に<b>生ゴミ回収 BOX</b>を作れば良い。</li> <li>・ 各家庭の堆肥化より、地区ごとの<b>コンポストシステムの配備</b>を願う。</li> <li>・ <b>地域にコンポスト</b>が出来れば良いが管理が難しいか。生ゴミを乾かすように促して成果を出した自治体は存在しているので力を入れても良いと思う</li> <li>・ 全員が取り組めるようにするには自助努力だけじゃ<b>設備等</b>整えられないため難しい。</li> <li>・ 家から徒歩十五分以内の場所に生ゴミを持って行ける場所があればとても嬉しい。みみずなどが分解してくれる<b>コンポスト</b>だとなお良いと思う。</li> <li>・ 生ごみのたい肥化を個人（特に庭などのスペースのないマンション住人）で行うためには、<b>スペースや設備</b>の問題があると思います。</li> <li>・ 生ゴミ処理機やコンポストの設置を<b>個人</b>とするのか<b>武蔵野市</b>とするのか、また武蔵野市とする場合の<b>設置場所</b>など、課題がある。</li> <li>・ <b>臭気</b>の問題を解決する事、堆肥の引き取り先（購入者）の確保が容易とは言えない。</li> <li>・ たい肥にするまでの<b>臭い</b>等が気になるため</li> <li>・ においが（<b>悪臭</b>）ある</li> <li>・ 生ごみをたい肥にするにはそれなりの道具が必要だと思うので、それを各家庭に置くことができるかどうかわからないので（<b>場所・臭い</b>などの問題）</li> <li>・ <b>マンション</b>で生活し、ディスポーザーを使うので、生ごみの分別とたい肥化ができない。</li> <li>・ <b>マンション</b>などの居住者は生ごみを堆肥にしても、マンションなどでは活用が難しい。</li> <li>・ 市民の<b>マインドセット</b></li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんとした<b>分別</b>が難しい人もいるかもしれない。</li> <li>・生ゴミが多いのでそれを肥料にできると燃やすゴミがだいぶ減る。肥料作りは肥料にできるものとできないものをきちんと<b>分離</b>しないとイケないので少し難しそう。だから誰かがきちんと管理しなければいけない。</li> <li>・たい肥にするための<b>知識、時間</b>が必要であり、市のリーダーシップによる市民への<b>啓蒙</b>が必要であると考えため。</li> <li>・堆肥にする仕組みとネットワークの構築に<b>労力と時間</b>がかかる</li> <li>・都市部では各家庭で堆肥化は難しい、食品ロスをあまり出さなければ生ゴミ自体が少なく、回収堆肥化の環境負荷がある。</li> <li>・<b>活用の仕方</b>が分からない</li> <li>・たい肥を必要としている所と、どうつながるのか。<b>流通システム</b>作りが難しいのでは。</li> <li>・庭やベランダのない住宅もあるため、地域の中で<b>循環する仕組み</b>が必要。</li> <li>・堆肥は<b>使う人が限られる</b>のではないかと思う。</li> <li>・個人として取り組むというよりは、<b>市が推進する</b>方がいいと思う。</li> <li>・準備を市がPR出来れば可能になるかも。</li> <li>・各家庭や各企業がコンポストを利用し堆肥化するのは容易なこと。それをできる市民を<b>育てられるか</b>が大きな行政の課題。</li> <li>・ベランダでもできる商品知らない。コンポストするようになってゴミが減った！楽しいですよ。</li> <li>・<b>管理</b>が難しい</li> </ul>
<p>行動9</p> <p>プラスチック容器、包装の使用を控える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの製品が<b>プラスチック製</b>だから。</li> <li>・使用しない<b>選択肢がない</b>ケースが多いです。市で量り売りなどを促進する仕組みを導入する必要があると思われます。</li> <li>・買い物の際に、すでにプラスチックに包まれているので<b>選択出来ない</b>。</li> <li>・商品の梱包に最初から使用されており消費者に<b>選択の余地が少ない</b>から</li> <li>・包装されていないものの方が少ない</li> <li>・商品の多くにプラスチックが使われている</li> <li>・流通している食料品等にプラスチックを使っているもの<b>多い</b>ため。</li> <li>・現状は多すぎる</li> <li>・自身がそれを不要と思っても、スーパーなどで既に<b>包装されている</b>ため</li> <li>・<b>代替品の開発</b>が不十分。</li> <li>・プラスチックは素材として優秀なので、<b>代替材の開発</b>もなかなか難しいと思う。</li> <li>・プラスチック容器、包装については、コストが安く扱いやすいため、普及してしまっているのだと思います。最近ソニーが商品パッケージからプラスチックを排除する発表を行っていましたが、<b>代替の容器・包装材</b>が普及すれば、そちらを利用しやすくなるのではないのでしょうか</li> <li>・ラップやビニール袋の利便性を超える商品を見つけていない。何か<b>代替品</b>があればよいのだが、難しいのではないかと思う。</li> <li>・野菜の商習慣を変える<b>パイオニア的</b>取り組み</li> <li>・スーパーなどの流通自体がプラスチックによって支えられている、<b>節約と回収</b>両方力を入れるべき。</li> <li>・控えるという<b>気持ち</b>を、どこまで維持できるか。</li> <li>・市民の問題ではなく、<b>企業努力</b>の問題。環境に配慮した包装やリサイクルできる素材で製品を提供する時代はもう来ている。市民としてビニール包装製品を購入しないも大事だが、売る側も包装方法を考えるべきである。</li> <li>・早く進めるべきだと思います。</li> <li>・市民の問題ではなく、<b>企業努力</b>の問題。環境に配慮した包装やリサイクルできる素材で製品を提供する時代はもう来ている。市民としてビニール包装製品を購入しないも大事だが、売る側も包装方法を考えるべきである。</li> <li>・家庭内のプラスチック容器、包装の使用を控えるのは複数回使用のできるものを使用すればよいが、購入の際については、<b>事業者への働きかけ</b>が必要だから</li> <li>・<b>企業</b>の責任が大きい</li> </ul>

<p>行動 10</p> <p>耐久性のあるモノを購入し、修理しながら使う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>企業</b>がパッケージをやめれば良い。</li> <li>・ 修理にかかる<b>時間</b>が長ければ買う方が楽だから。</li> <li>・ 修理すれば使えるものの、修理する<b>コスト</b>の方が購入コストを上回ることがある。</li> <li>・ 耐久性が高い品物は<b>高い</b></li> <li>・ 修理の事の方が<b>高い事</b>が多い、それだけ資源を使うという事。</li> <li>・ 修理代が<b>高い</b>。</li> <li>・ 耐久消費財であっても、最近の商品はある程度の年数で壊れることを前提に作られてしまっているから。また修理は新製品を購入するよりも<b>割高</b>になる場合が多い。</li> <li>・ 修理してくれるところが少ない、または修理代金が高い</li> <li>・ 耐久性について頼れる<b>情報の入手は困難</b>です。</li> <li>・ メーカーの<b>部品供給期限</b>があり、調達できない場合が多い。また、個人レベルで対応できないケースも多い。</li> <li>・ 家具などの耐久品は修理可能であるが、大型家電などは、<b>部品供給</b>の問題もあり、修理して利用するというよりは、廃品をリサイクルしていく方がよいのではないのでしょうか</li> <li>・ 長く着ているものがカッコいい。</li> <li>・ 修理を消費行動として<b>定着</b>させるための<b>工夫</b>が必要なのではないかと思う。</li> <li>・ QCD など企業活動に変革が求められる。ESG 活動など</li> <li>・ 修理<b>ノウハウ</b>が定着していない</li> <li>・ 修理がどこまで（いつまで）可能か？</li> <li>・ 修理をより文化的に</li> <li>・ 特にハイテク化/電子化されたものは、耐久性の見極めも、修理も難しい。</li> <li>・ とくに<b>子供、女性や高齢者</b>にとって、修理することはハードルが高いかもしれない。</li> <li>・ スペシャリストなどと呼んで月一のお直し会などを開催できると楽しいと思う。</li> <li>・ 耐久性のない安いものをついつい買ってしまい、使い捨てのクセがついている。<b>考え方</b>を、変えなければいけない。</li> <li>・ 新しいものに価値があるのではなく、長く使うことで愛着がわくことに<b>価値観</b>をもってほしい。素材がサーキュレーションの輪にある製品はとても重要で、耐久性があったり、直せるのは製品ができるだけゴミにならないので大事なアプローチであると考えています。</li> <li>・ <b>意識改革</b>。</li> <li>・ 新し物好き</li> <li>・ 安くて使い勝手の良い商品が多い。修理して使う生活をしていない。</li> </ul>
<p>行動 11</p> <p>モノをシェアする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>コロナ禍</b>では限界があると思う</li> <li>・ まだ<b>コロナ</b>のこともあるので人がつかつたものに抵抗がある人もいるのではないかな。</li> <li>・ 自転車などはやりやすいが、<b>家電</b>などの個人所有のシェアは実際に始めたら課題は多そう（人間関係のトラブル、治安）</li> <li>・ かつてカーシェアのユーザーだったが、ペットの同乗ができないなど、<b>制限</b>が多く、利用をあきらめた。</li> <li>・ きめ細かな、消費者ニーズに合わせたシェア産業が育つとよいと思う。</li> <li>・ 対象を厳選し<b>利用モデルの普及・浸透</b>に工夫が必要</li> <li>・ モノの定義をするのが困難</li> <li>・ 「モノ」によるから</li> <li>・ シェアする<b>方法（ルール）</b>が必要。</li> <li>・ シェア自体に<b>抵抗</b>を示す方も一定程度いるであろうから。</li> <li>・ 清潔さの観点などからモノのシェアに<b>抵抗</b>があるため</li> <li>・ 所有の方が確実に使えるという事、所有による満足感など、の<b>メリット</b>は捨てがたい</li> <li>・ シェアサイクルや、シェアカー等普及しており、共有利用に抵抗感のない商品、</li> </ul>

	<p>サービスへの取り組みは容易であると思います。取組が難しいケースとしては、利用場所、時間が集中してしまう、商品、サービスは、<b>利用の分散化</b>が課題であると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果的な取組だとは思いますが、<b>事業者の協力</b>を得て強かに推進していかないと、定着しないかもしれない。</li> <li>・ 面白いからやって欲しい、<b>プラットフォーム</b>が欲しい</li> <li>・ <b>プラットフォーム</b>を用意する必要がある</li> <li>・ ベビー用品や使用しなくなった家庭用品を、二次使用できるような<b>仕組み</b>がないから。</li> <li>・ <b>仕組み</b>が必要、またそれを認知して貰うことも必要。</li> <li>・ シェアサイクルの<b>仕組みづくり</b>に時間と労力がかかる</li> <li>・ カーシェア、サイクルシェアなどひろまってきている考え。それを実現するための<b>仕組み</b>が整えられるかが大きなポイント。利用する側と供給する側の一致が求められる。</li> <li>・ 実際に経験した事が無い。</li> </ul>
<p>行動 12 分別して捨てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にプラスチックは、分別しても<b>実際にリサイクルできない</b>ことがほとんどです。分別している民衆が分別で満足してしまっ使用量を削減しようとししない現状ですから、むしろ逆効果をもたらしてしまう可能性が高いでしょう。</li> <li>・ 分別した場合の<b>行く先</b>が良く分かっていないと適切な分別は困難。</li> <li>・ 分別すれば資源、まとめればゴミ。ゴミを分別すると<b>どのようにリサイクルされるか</b>を広く周知する必要がある。</li> <li>・ 分別回収をしてもらえるので、分別してごみ捨てを行っている。</li> <li>・ ゴミの分別で<b>迷う</b>ことが多いので、詳しい分別表を作ってほしい</li> <li>・ 今の収集方法をさらに細分化するには、意識だけでなく、<b>仕組み</b>（個人が適切にごみを識別できるかなど）の構築が必要だから</li> <li>・ めんどくさいを省けるユニークなアイデアが欲しい</li> <li>・ 難しくない</li> <li>・ 分別回収するための分解できない商品があるため、<b>供給サイド</b>に改善をしてほしい。</li> <li>・ ご高齢だったり、障害があったりする方もいるからです。</li> <li>・ 結局<b>サーマルリサイクル</b>（焼却処理でリサイクルでない）ならば分ける必要はないから、分けた後にどのようにマテリアルリサイクルができているかを市民に伝える必要がある。一刻も早くサーマルリサイクルは廃止すべきでマテリアルリサイクルにシフトチェンジすべき。</li> <li>・ 市民が、毎日、曜日ごろに燃やすごみ（生ごみ、プラスチック製品、その他に分別）、燃えないごみ（金属製品、小型家電、電球等の分別）に分別して出しているため、武蔵野クリーンセンターでは「ごみ」発電を行うことで、ごみ原料を軸。武蔵野市民はごみに対する意識が高い。</li> <li>・ 今のごみ出しで若い世代ができていない（経験がないため）</li> </ul>
<p>行動 13 不用になったモノを次の人が使える仕組みを利用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者を介したり、個人同士で持ち物を受け渡しする際、<b>悪意のある事業者や人</b>にあたることもある。公的な機関が間に入るといいのではないかと思う。</li> <li>・ 交換できる<b>仕組みづくり</b></li> <li>・ <b>仕組み</b>をいかに認知して貰うかがキーだと思います</li> <li>・ <b>マッチング</b>につき、地域での近所付き合いがある程度定着があれば可能だが、現状はそのマッチングこそ市の取り組みが大きいと感じるから。</li> <li>・ <b>個人情報</b>に留意すると仕組みが煩雑になる</li> <li>・ 現状は回答のとおり。</li> <li>・ 中古品の<b>品質が不明</b>であることが難点か</li> <li>・ まだ<b>コロナ</b>のこともあるので抵抗がある人もいるのではないかと思います。そこは十分に消毒などすることも考えますが、そこも個人差があると思います。</li> <li>・ 他人が使用したものへの<b>抵抗感</b>があるため</li> <li>・ リユースの考えはとても大事である。人が使ったものでも価値がある製品を作ることが大事。アップサイクルや製品価値を高める企業が増えてほしいし、市民は</li> </ul>

	<p>そういう製品を選んでほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・最近ごみセンで「むさしのエコボ」を見かける。取組は非常に良いと思っているが、いかんせん利用者が少ない。この取り組みを「武蔵野クリーンセンター」で行う事はできないか。クリーンセンターで目利の人を雇い、収集日が空いている第2、第4木曜日に行う事はできないか。</li></ul>
--	--

## (2) 第3回テーマ「動く・働く(学ぶ)・遊ぶ」

各行動の取組が難しいと考える理由は、表6に示すとおりです。

表6 行動ごとの取組が難しい理由(第2回テーマ)

	理由(自由回答)
行動14 徒歩で移動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までの習慣を変えることは難しいから。</li> <li>・ 行動範囲が徒歩圏を超えるため。</li> <li>・ 人口密度が低い武蔵野市では徒歩で移動できる経路が限られています。吉祥寺付近は非常によくできていますが、その他の地域は店と住宅が混ざる再開発が必要でしょう。</li> <li>・ 歩きやすい道ばかりではない(普段気にするほどでないが、長距離は歩きづらいことも)</li> <li>・ 出来るだけということはわかるが、身体の状態で難しい人も多いと思う。</li> <li>・ 人により歩行能力が違う</li> <li>・ この設問の趣旨がよくわからない。移動手段は、それぞれの体力やその時の状況等に応じて市民が適切に判断することでよいと考える。</li> <li>・ 時間との兼ね合いもあるのでは？(できる人ができるだけやればいいのか？)</li> <li>・ 移動に時間制約がある場合は促進が困難と考えるため。</li> <li>・ 最近、駅まで約1.5kmを歩くようにしています。歩数をカウントして、歩くほどメリット(お金でなくてもよい)があるサービスがあれば、より取り組みやすいと考えます。</li> <li>・ 高齢化、自転車、バスが充実しているから</li> <li>・ 高齢者、障害のある方は難しい</li> <li>・ 個々の事情や高齢、障害といった問題があるから、できる人がやればよいな、と思う。</li> <li>・ 足が悪い人には辛い</li> <li>・ 健康のために歩くは理解できても、環境のために徒歩を選択するというのは、やや飛躍している。</li> <li>・ 徒歩での活動をメリットとして啓発することが困難と捉える</li> </ul>
行動15 自転車移動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車の道や駐車場が多いから、パリミたいにただ自転車に転用すれば輸送力とエコ性をすぐでも向上できるはずです。</li> <li>・ 悪天候の日など。</li> <li>・ 安全性は言わずもがなであるが、シェアサイクルは効果的と見る。</li> <li>・ 自転車用の道路が狭いので、危険だと感じる人がいるかもしれない</li> <li>・ 道路の自転車レーンが未整備である上に、自転車運転者の法令無視が甚だしく、危険極まりない状態である。</li> <li>・ 自転車の走行が今の道路状況だと安全だとは思えない。</li> <li>・ 武蔵野市の道路の幅を考慮すると、このまま自転車利用を大きく増やすのは、安全上問題があると考えます。自転車利用帯の確保や、その利用帯の上や路肩に駐車している自動車の取り締まり、即時撤去を実施すべきと考えます。</li> <li>・ 自転車専用道路、駐輪場などの整備が先では？</li> <li>・ 自転車専用道路の整備が進んでいない。駐輪場が少ない。自転車のマナーが悪い</li> <li>・ 自転車道の整備(自転車が安心して車道を走れるよう道を確保)、自転車のマナー講習が必要</li> <li>・ 難しくない、駐輪場などもかなり整備されたし</li> <li>・ 駐輪場が十分に確保出来ている前提となる。</li> <li>・ 行動範囲が自転車での移動範囲を超えるため。</li> <li>・ 単独での質問では同回答すべきか困惑する。自転車でいくか、徒歩で行くか、電車で行くかなど移動手段は、市民が置かれた状況に応じて適切に判断すればよい。環境への意識を持っていれば自ずと良い選択ができると考えるからである。</li> <li>・ 公共交通であるバスが自転車の後ろを走っている状況も見られるが、それらの自転車の何割かは、歩行者がいないと見るや歩道を走り、歩行者がいるとまたバス</li> </ul>

	<p>の前に出てくるというご都合主義である。車道を一方通行にして自転車レーンを広くして自転車の安全な運転を可能にしつつ、自転車の<b>法令違反</b>をしっかりと取り締まるのが自転車利用推進の条件である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々の事情や<b>高齢、障害</b>といった問題があるからやれる人がやればいいな、と思う。</li> </ul>
<p>行動 16</p> <p>公共交通機関で移動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電車空白地帯に<b>トラム</b>を引けば使う人が多いと思われます。ただし、自転車より初期コストが高いでしょう。バス優先信号や車線はすぐにでも実施できるはずです。</li> <li>・ 公共交通機関ではいけない（または時間がかかる）<b>場所</b>があるのでは？</li> <li>・ その時の状況によるので</li> <li>・ 武蔵野市の現状を考慮すると、駅から延びる<b>バスの定時性確保</b>や、JR 中央線の<b>混雑緩和</b>がないと、これ以上の公共交通機関へのシフトは難しいと思います。</li> <li>・ すでに公共交通機関は充実しているので、<b>これ以上は難しい</b>気がする。</li> <li>・ <b>ペットを伴う移動</b>では、同乗他者に配慮する必要があるため。</li> <li>・ 設問が徒歩、自転車で行けない場所へ自家用車を使うか公共交通機関を使うかとなっていれば、7 積極的に取り組むべきを選択するが。</li> <li>・ 個々の事情や<b>高齢、障害</b>といった問題があるからやれる人がやればいいな、と思う。</li> </ul>
<p>行動 17</p> <p>電気自動車で移動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すぐには難しいと思うし、電気自動車でないひとの風当たりが強くなりそうで怖い。</li> <li>・ 電気自動車が解ではない。<b>電源</b>の再生可能エネルギー化、脱炭素化が解。</li> <li>・ EV 車の<b>性能</b>（走行距離他）及び<b>充電インフラ</b>がまだまだ整備されていない。高速道路、新幹線のような国策としての推進が必要。</li> <li>・ <b>インフラ</b>の整備が先なのでは？</li> <li>・ <b>技術の発達</b>と<b>インフラ整備</b>の両立が不可欠なので難しいが、必要なことだと思います。</li> <li>・ 短距離なら可能と思うが長距離だと<b>インフラ</b>がまだ必要だと感じる</li> <li>・ そもそも車が必要かを考えるのが前提で、そのうえで電気自動車にするかどうかだが現在ではまだ電気自動車の購入はカードルが高いから（シンプルにどこで<b>充電</b>するかの問題もある）</li> <li>・ <b>充電設備</b>等が少ない</li> <li>・ <b>充電スタンド</b>の整備が必要。また、普及させるには購入補助も検討したほうが良いと考える。</li> <li>・ 公共及び自宅（特にマンション）の<b>充電設備</b>の整備が拡大されないため、補助金を活用して電気自動車を購入しようとしても、利用できる環境になっていない。</li> <li>・ <b>充電ステーション</b>がない</li> <li>・ <b>価格</b>が高い</li> <li>・ <b>価格</b>の問題</li> <li>・ <b>購入費用</b>が高い</li> <li>・ 電気自動車は<b>高価</b></li> <li>・ <b>コスト</b>と航行距離で自分の活用目的にあった車が生産されていない。</li> <li>・ <b>コスト</b>的な課題があると考えるため。</li> <li>・ できれば電気自動車にしたほうが良いと思うが、<b>価格</b>が高い。充電と<b>走行距離</b>に不安がある。</li> <li>・ EV でも自動車は<b>エネルギー</b>を多く使い、広い<b>面積</b>を独占するため、限られている土地の効率的な使い方だと考えにくいです。</li> <li>・ 自家用は<b>コスト</b>と<b>時間</b>がかかる。公共交通機関（例：ムーバスなど）から始める。</li> <li>・ 電気自動車を所有していない</li> <li>・ 電気自動車を購入する費用を捻出しないとイケない。電気自動車の<b>電気</b>を化石燃料で作っているのでは脱炭素に貢献しているとは言えない。<b>水素自動車</b>の普及を早めた方が良いのかもしれない。</li> <li>・ 電気自動車のある程度の利用がなされていることが前提となるであろうから。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EV 礼賛は馬鹿みたいな話、<b>レアメタル</b>の問題、高速道路を一時間走って 30 分充電、<b>バッテリー</b>は高いし<b>劣化</b>の問題はまだ大きく顕在化していない、そもそも車のエネルギー効率アップは車を軽く作ること。講師の言っていた「今後の技術開発に期待」1970 年代から原子力開発でさんざん聞いたセリフ。</li> <li>・ 本当に環境にやさしい乗り物かどうかの<b>評価が固まっていない</b>。</li> <li>・ 電気自動車の普及がまだ先だと思うから。</li> <li>・ 補助制度が必要普及には<b>公的な支援</b>が必要</li> <li>・ 個人の取り組みというよりは、市内の車両を電気自動車に切り替える話だと思います</li> <li>・ 設問に工夫をお願いしたい。</li> <li>・ 市内で使用する<b>電気の発電</b>のために他の自治体で CO<sub>2</sub>が発生し、原発事故のリスクとともに生活する人がいることを忘れてはいけない。</li> <li>・ まず市内走行<b>路線バス</b>の 100%再エネ</li> <li>・ 電気自動車の性能・価格、充電施設の未整備が解消されていくことが必要。</li> <li>・ 買い替えにお金がかかるため</li> <li>・ 徐々に電気自動車に変わっていくことで簡単には変わらないから。</li> </ul>
<p>行動 18</p> <p>シェアサイクルを活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使いたい<b>場所</b>でシェア地点がないように感じる</li> <li>・ <b>場所が足りない</b>と思う</li> <li>・ 駅前に十分なシェアサイクルを置く<b>場所</b>がありますか？</li> <li>・ <b>シェアサイクリングステーション</b>の確保が困難では。自分の自転車ではないため、乱暴に使用する人も出てきてシェアバイクが長くもたないのでは。</li> <li>・ シェアサイクルだと事業者に利鞘をとられるため自前でよい。また、シェアサイクルには電動自転車が多く、<b>リチウムイオンバッテリー寿命と廃棄</b>の問題を懸念する。</li> <li>・ 使用頻度、維持費用などの<b>費用対効果</b>に疑問。</li> <li>・ <b>料金と利用のしやすさ</b>がネックになるのでは？</li> <li>・ <b>自転車専用車線</b>を大幅に増やす必要があるでしょう。</li> <li>・ 利用を促進するために、官民協力による条件と<b>環境整備</b>が必要である。要は「本気度」が必要。</li> <li>・ シェアの<b>仕組み</b>につき市のリーダーシップが求められるから。</li> <li>・ 利用しやすい<b>仕組み</b>がある前提</li> <li>・ あえて難しい理由を挙げれば、利用したい<b>場所と時間</b>に、空いているかが課題。</li> <li>・ 街の構造上、シェアサイクルの<b>需要が伸びるか</b>がわからない。自分用の自転車の方が便利な気がする。</li> <li>・ 既に利用者がたくさんいる</li> <li>・ 身近に手の届く距離にシェアサイクルがない。</li> <li>・ <b>ルール</b>を守らない人がいる</li> <li>・ 武蔵野市外から来た人にとって便利だと思う。</li> <li>・ 実際に経験したことがない</li> <li>・ まだまだ<b>コロナ</b>のこともあるので、シェアに、<b>抵抗</b>がある人もいるのではないかと思うから。</li> </ul>
<p>行動 19</p> <p>カーシェアを活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>コロナ禍</b>では難しいのでは</li> <li>・ まだ<b>コロナ</b>のこともあるので抵抗がある人もいるのではないかと思うから。</li> <li>・ 私は人が使った車を使いたくない</li> <li>・ <b>車が要らない街づくり</b>を目指すべきです。</li> <li>・ <b>費用と使いやすさ</b>がネックとなるのでは？</li> <li>・ カーシェアを使用したいというニーズが少ないところは、使用されない車も出てきて、いざ、使用するとき<b>バッテリー</b>が上がって使用できないなどが発生しそう。<b>運用管理</b>が、難しいのでは。</li> <li>・ 利用しやすい<b>仕組み</b>がある前提</li> <li>・ シェアのための<b>マッチング</b>が市によってなされることが求められるから。</li> <li>・ 車の使用目的は様々だと思われるが、それらに応じる形で「いつでも、どこでも」使えるようにすると逆にエコではなくなるのではないか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーシェアの利用だけでは、CO<sub>2</sub>が大きく減少するわけではないので、武蔵野市内では<b>環境に配慮した自動車</b>（電気自動車やハイブリッド）のカーシェアのみ営業できるようにしてはどうか</li> <li>・ペットの同乗できず、<b>用途</b>に限りがある。</li> <li>・市内での移動であれば、カーシェアそのものの<b>必要性</b>は低い。したがって、そのような仕組みは成功しないであろう</li> <li>・<b>トラブル</b>があった時解決しにくい</li> <li>・タイムズカーシェアと公共交通機関の業務提携などシェアカー駐車場までの<b>アクセス</b>が良くないと、荷物の多い時や雨の日には自宅の駐車場に車があればと思うに違いない</li> <li>・実際に経験したことがない</li> </ul>
<p>行動 20</p> <p>電動バイクや次世代モビリティなどの新しい乗り物で移動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律などの整備が追いついてないと思う</li> <li>・<b>法整備</b>も進んでおらず、まだ、時期尚早なのでは？</li> <li>・<b>法律や保険</b>などが対応出来ていないと難しい</li> <li>・<b>車道、歩道</b>の狭さや<b>ルール</b>づくり</li> <li>・道が狭い</li> <li>・<b>道路</b>の整備等が必要</li> <li>・そこまで<b>インフラ</b>が整っていないのでは、と感じる</li> <li>・自転車、バス、トラムはすでに活用できます。星を次世代技術に賭ける時間はありません。</li> <li>・<b>安全性</b>がよくわからない。</li> <li>・電動バイクは積極的に進めなくてもよいかと思います。次世代モビリティは高齢化に向けて取り組むべきですが、<b>安全性</b>の確立が必要では。</li> <li>・その開発や利用推進のための<b>啓蒙</b>が強力に必要だろうから。</li> <li>・<b>レアメタル</b>の問題、高速道路を一時間走って30分充電、<b>バッテリー</b>は高いし劣化の問題はまだ大きく顕在化していない、そもそも車のエネルギー効率アップは車を軽く作ること。講師の言っていた「今後の技術開発に期待」1970年代から原子力開発でさんざん聞いたセリフ。武蔵野市内の道路状況を考慮すると、<b>安全性</b>に疑問。</li> <li>・まずは、<b>自転車</b>の利用を優先すべきか</li> <li>・<b>初期投資</b>が大きい。取り組みのインパクトは高いと思うが。</li> <li>・<b>充電所</b>などを増やす必要、<b>ルール</b>作りも必要</li> <li>・コスト比較で既存のモビリティの方が<b>割安</b>に感じている。</li> <li>・（難易度に関わらず）必要ないと考えているのに、取り組みの難易度を聞かれても</li> <li>・<b>車道、歩道</b>の狭さや<b>ルール</b>づくり</li> <li>・トラムの配備が理想だが、ハードルが高い。</li> <li>・電動バイクや次世代モビリティのそれぞれについて具体的に検討しないと判断が難しい。</li> <li>・実際に経験したことがない</li> <li>・最近そういった乗り物の<b>事故</b>や<b>意識</b>の低さを目にしますので、改善されればいいのかもかもしれません。</li> </ul>
<p>行動 21</p> <p>CO<sub>2</sub>削減に配慮した運送方法を選択する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>個人の選択</b>で不十分です。</li> <li>・強烈的な市の制約が必要で、現実的か、検討する必要がある。</li> <li>・二酸化炭素排出量の削減にどう配慮したのか、<b>が判り難い</b>。</li> <li>・配送にかかる<b>排出量</b>をどうやって<b>確認</b>するのかその手段が一般的じゃない</li> <li>・<b>見える化</b>が必要</li> <li>・どれが該当するか<b>分からない</b></li> <li>・消費者の立場だと<b>環境に配慮した運送方法</b>かわからない</li> <li>・運送方法を選択ができる<b>場面</b>がそもそも<b>あまりない</b>ように感じる。</li> <li>・COVID19蔓延下、また妻・夫とも仕事で忙しい世帯では、通販による運送(配送)が不可欠で、運送方法は消費者が<b>選択</b>できない</li> <li>・情報が不足して、<b>選択</b>ができない。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身がそれを<b>選択</b>するのは現時点では<b>難しい</b>と感じる</li> <li>・その場その場で何が良いか、すぐ使えるか、という問題</li> <li>・<b>運送業者の協力</b>が不可欠。但し、移動距離の短い市内の配送には、営業所に戻って充電が可能な<b>電気自動車</b>の利用は適していると思います。</li> <li>・<b>通販サイト</b>などが対応しないと実現しないため</li> <li>・アマゾン、楽天などのEコマース<b>業者の協力</b>が必要。業者は競争優位を、消費者は安さを優先しがちになるので、それを克服できる仕組みが必要。</li> <li>・個々の事情があるから。</li> <li>・<b>企業行政</b>を巻き込む必要があるから。</li> <li>・<b>民官の協働</b>がテーマ</li> <li>・個々の事情があるから。</li> </ul>
<p>行動 22</p> <p>外出せずに家で遊ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図が伝わらないから。家にいることがいいとは思えない。</li> <li>・<b>子供</b>はとくに遊ぶべき</li> <li>・イノベーションに創造性は不可欠。創造性に<b>セレンディピティ</b>は不可欠。外出、旅、冒険による未知との遭遇、他者との出会いは発想を育む。外出はすべき。</li> <li>・人間の生活には<b>自然・社会</b>が必要。</li> <li>・健康的でない</li> <li>・全く外出しないのは難しいように思う。たまには外出したほうが<b>健康的</b>。</li> <li>・心身両面での<b>健康保持対策</b>を考慮すべし</li> <li>・不健康</li> <li>・<b>健康、嗜好</b>から言ってかなり難しいし、私は決してしないだろうから。</li> <li>・外出せずに家で遊ぶこと自身が難しいというよりも、その結果である市民、国民の<b>健康</b>との両立、<b>精神衛生</b>との両立が難しいと考える。</li> <li>・<b>健康</b>や<b>生活の豊かさ</b>という観点から適切ではないと考えるため。</li> <li>・家にいてばかりでは<b>健康</b>に良くないし、まだそれで<b>経済</b>が回る世の中ではない</li> <li>・外に出たいから。<b>お金</b>回らない</li> <li>・個人の<b>趣味</b>の問題だから</li> <li>・アウトドアを<b>好む</b>人もいるので。</li> <li>・人は外出が好きです。</li> <li>・ナンセンス</li> <li>・家で遊ぶのは強いられてやるものではない。それよりは外で遊んでもCO<sub>2</sub>削減になるような方法を考えるほうが現実的</li> <li>・家で遊ぶだけなら何故、「<b>全国旅行支援</b>」があるの</li> <li>・<b>余暇の過ごし方</b>まで決められることに、抵抗を感じる人は少なくないと思われる。</li> <li>・外でしか経験できない事もあり、強制はできないため。</li> <li>・外に出かけたい欲求は誰しも持っているので持続可能な取り組みではないため自分の町をよく知るための取り組みはあるといい</li> <li>・合理的な説明が出来ない</li> <li>・外出制限、行動制限は望ましくない。</li> <li>・仕方なく5難しいを選択しているが、取り組んではいけない。</li> <li>・外に出ないと気候変動を肌で感じられない</li> <li>・家が狭い</li> <li>・なぜ家？</li> <li>・たまに外出しないと気がめいる</li> </ul>
<p>行動 23</p> <p>外（自然の中）で遊ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭い武蔵野市では<b>自然</b>が少ないです。井の頭公園はすでに混み合っていて、新しいスペースは確保しにくいです。駐車場や自動車用道路の転用は可能かもしれませんが。</li> <li>・外で遊ぶことを促すために心地よい<b>公園</b>や<b>自然</b>を維持するべきだと思う。</li> <li>・本テーマの対策として適切かは不明であるが、自然と繋がり気候を知るきっかけとなるため。</li> <li>・武蔵野市には<b>大規模公園</b>が近くにあるので、そんなに難しくない</li> <li>・魅力的な<b>遊び場</b>作りが課題だと思う。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余暇の過ごし方まで決められることに、抵抗を感じる人は少なくないと思われる。</li> <li>・外出する場所や距離によっては、時間やコストが課題になるが、特に難しい理由が見当たらない。</li> <li>・個人の自由だと思います。ただ自ずとそうなるよう、自然の中で遊べる場所を充実させられたらいいと思います。</li> <li>・個人の趣味の問題だから</li> <li>・外で遊ぶか、内で遊ぶかは、環境によって個人の選択に任せるべきだと思う。</li> <li>・外出する場所や距離によっては、時間やコストが課題になるが、特に難しい理由が見当たらない。</li> <li>・外で遊ぶことを促すために心地よい公園や自然を維持するべきだと思う。</li> <li>・自然はとてもいいという反面、厳しいこともある。また、気楽にそういったところに出向けない人もいる。</li> </ul>
<p>行動 24</p> <p>近場 (公共 の施設 など) で遊ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの世代にも魅力的と思われる公共施設を作る必要があるから。</li> <li>・住宅街の近所の面白さを開発規制などの改正により面白くする必要があるので。</li> <li>・個人の趣味の問題だから</li> <li>・余暇の過ごし方まで決められることに、抵抗を感じる人は少なくないと思われる。</li> <li>・個人の自由だと思います</li> <li>・行動を規制すべきではない。</li> <li>・各地で遊ぶことは悪いことではないし、本テーマの対策として適切かは不明であるため。</li> <li>・インターネットで予約がいるのは面倒</li> <li>・割りと、自分の住んでいるところを知らないということもあるので、近いところから知っていくのも eco を考えてもいいと思う。</li> <li>・遠くへ行けばよい</li> <li>・難しくない。</li> </ul>
<p>行動 25</p> <p>CO<sub>2</sub>削減 に配慮 した遊 び方、 旅行を 選ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どう行動すればよいか分からないから。</li> <li>・どれが該当するか分からない</li> <li>・遊び方がわからない</li> <li>・イメージが湧かないため難しい。</li> <li>・個人の選択で解決できる課題ではありません。</li> <li>・個人の自由だと思います。</li> <li>・有効な具体的企画モデルの創出と提案をコンペして消費者が選ぶ必要あり。</li> <li>・旅行の目的は、非日常の体感で、CO<sub>2</sub>削減と逆行するため</li> <li>・どこまで配慮するか、が個人の判断だから</li> <li>・徹底的に配慮したものとまではいかず、気軽に取り入れられそうな方法を提供していけばハードルが低いように思われるため。</li> <li>・その時々によって一番楽しい方法を選びがち</li> <li>・CO<sub>2</sub>削減に配慮した遊び方や旅行の、サービス提供やその情報が不足しており、その様なサービスを選択しづらい。</li> <li>・情報が不足している。</li> <li>・CO<sub>2</sub>削減量を可視化するのが難しいのではないかな。</li> <li>・飛行機利用などを考えると CO<sub>2</sub>排出は避けられなさそう</li> <li>・姉妹都市とのレジャー企画がゼロカーボンで行われるモデルケースを作る</li> <li>・自分の希望と場所がそうであればいいと思う。</li> </ul>
<p>行動 26</p> <p>テレワ ーク・ リモ ート 授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外に該当するケースが多く、市外の地域も巻き込む必要があるから。テレワークは経験したことが無いが、リモート授業はやっていると病む。学校は対面に意義があると思う</li> <li>・通勤時間が無駄。</li> <li>・デジタルデバイド (特に高齢者に多い) 対策が必要</li> <li>・全てがテレワーク、リモート授業でいいわけではないから</li> </ul>

<p>を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレワークができない職種もあるし、リモート授業が推奨されるべきとも思わないので</li> <li>・ 学生生活は直接の交流によって育まれるため、リモート授業については推奨とは言い難い。</li> <li>・ 対人関係の構築も教育の一部だと思うので、低学年については、授業は対面で行った方が良いのではないか。一方でリモートワークについては、エッセンシャルワーク以外はほぼ普及したのではないのでしょうか</li> <li>・ 教育の場ではリモートに限界がある、できればオフラインで 仕事はリモートしやすい環境整備は必要</li> <li>・ 企業でのテレワークには賛成。中学生以下のリモート授業には次の理由により反対する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①友達との交流がなくなる</li> <li>②分からないところがあっても質問できない</li> <li>③実技はどうするのか</li> <li>④授業終了後の清掃、片づけが大事</li> </ul> </li> <li>・ 人との交流をしっかりとすべきであるため。</li> <li>・ 家庭環境や通信設備・機器の問題から積極的でない家庭も多いから。教育においては、対面とリモートを1組み合わせて行うこと、サポートの必要な家庭への公的援助が必要</li> <li>・ 積極的に進めるべきでない。</li> <li>・ 実際に会うことも大切だと思うので、選択できるようになったら良いと思う</li> <li>・ コロナでだいぶ進んだことではありますが、コロナ対策以外でのいい部分が少ない気がする。リモートできる人ばかりではないので。できる人がやればいい。</li> <li>・ 自身がそうしようと思っても企業や学校などの考えによるので、選択肢は自ずと限られる</li> <li>・ 対面は重要</li> <li>・ 対面が必要なコミュニケーションもあるため。</li> <li>・ それが及ぼすマイナスの影響を軽減する仕組みがないと、普及は難しい。</li> </ul>
<p>行動 27</p> <p>シェア オフィスを 活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これは一体どうやって気候変動対策になるのでしょうか？</li> <li>・ 使用料金と容易に使用できる環境を構築できるか？</li> <li>・ よく利用します。利用料の会社負担を義務化するといっています。</li> <li>・ そういう環境にある人ばかりではないから。</li> <li>・ ケースバイケースであろうから。</li> <li>・ 事務職のことばかり考えているからこんな設問になる、現場で汗を流している人の事を考えて下さい。</li> <li>・ 武蔵野市にシェアオフィスが少ない</li> <li>・ 機密情報の取扱いに配慮する必要がある。</li> <li>・ 実際に経験したことがない</li> </ul>

### (3) 第4回テーマ「住まいのエネルギー」

各行動の取組が難しいと考える理由は、表7に示すとおりです。

表7 行動ごとの取組が難しい理由（第2回テーマ）

	理由（自由回答）
行動 28 電力を再エネ電気に切り替える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 料金が高くなる場合が多いから。</li> <li>・ 市レベルで選択できることではないでしょう。</li> <li>・ 再エネの利用が簡便でない為</li> <li>・ まず、再エネ電気の割合を増やすことが先では？</li> <li>・ 段階的な取組が求められ、すぐにすべてとはいかないだろうから。</li> <li>・ 初期投資が大変</li> <li>・ 省エネ器具に取り換える費用が掛かる</li> <li>・ 現状では選択肢に限られる。情報面/経済面の支援がないと難しい。</li> <li>・ コストがかかる料金の高騰で逆風が吹いている。多くの人に広まるには市としての補助が必要。</li> <li>・ 再エネの会社に変えると割引がもらえるキャンペーンを実施すると思う。価格的な部分で、切り替えが難航するケースもある。</li> <li>・ 現状ではコストと安定供給に課題があると考えため。</li> <li>・ 現状では再エネ電気かどうかを正確に判断することは、一般には難しい。一部の売電業者は、安定供給に不安があるだけでなく、再エネ電力の割合が極めて低いという問題がある。</li> <li>・ 再エネ電力を提供している業者の情報が不足している。</li> <li>・ どの電力会社が良いかの情報が不足していることと、再エネ電力会社のコスト競争力が不足しているため。コストがどの程度になるのか、情報が不足している。</li> <li>・ 再エネの発電供給量が非常に低い現状では、難しい気がする。太陽光等で自家発電した分を自家消費するのは良いと思う。</li> <li>・ 再エネプランをだしている企業もそこまで多くなく、かつ現行のルールでは“実質”再エネの電気の使用に留まるため、否定はしないが、自家発電自家消費を推奨したほうが真の再エネ使用になると考えるため。</li> <li>・ すべての電力を再エネで賄うことは現段階の電力状況では不可能</li> <li>・ 制度が整っていないから。</li> <li>・ 再エネといっても LNG を利用しているケースが多く、大幅な CO<sub>2</sub> 削減には結びついていない。</li> <li>・ 送電線を所有している電力会社が再エネを優先させた輸送電力量の配分に非協力的だから。また、コストパフォーマンスの良い蓄電設備が普及していないから。</li> <li>・ 勉強会を定期で開いてなぜ再エネに変える必要があるのか、どのような会社があるのかなどを説明すると思う。</li> <li>・ 個々の事情があるから。</li> <li>・ 市としては、既に武蔵野クリーンセンターにおける廃熱エネルギーを周辺公共施設へ供給、公共施設への太陽光発電システムを行っている。今後も、廃熱エネルギーの供給増、東京都の太陽光発電等補助金及び市からの助成金を活用し積極的に推進をは図るべき。</li> <li>・ 電気代の面で難しいと思いますが、優先度の高い事項だと思います。マンションなどだと選択肢に限られる</li> </ul>
行動 29 太陽光パネルを設置する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストがかかるから。</li> <li>・ 金銭的な負担が大きい。</li> <li>・ 設置コストが高いこと</li> <li>・ 設置コストが高い。</li> <li>・ また長い目で見れば損をしないというが、初期投資がまだ大きすぎる</li> <li>・ 既存家屋の場合は設置できるか否かの判断も必要で、さらに設置となると多額の出費が必要となり、技術的/経済的支援がないと難しい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期コストがかかるので、補助金等で賄えれば良いと思う。</li> <li>・コストが個人負担のネックになると考えるため。</li> <li>・コストがかかることと、日当たりによるから。</li> <li>・購入費用が掛かる</li> <li>・費用の問題</li> <li>・高価</li> <li>・価格の問題</li> <li>・設備投資の面で難しいとは思いますが優先事項だと思います。</li> <li>・初期投資が大変。支援があればよい。</li> <li>・初期コストがかかるので、補助金等で賄えれば良いと思う。</li> <li>・提供業者による商品性の改善と、導入コストの補助が必要だと思います。</li> <li>・FIT制度がなくなって、経済的メリットがなくなったから。公的補助を期待する。</li> <li>・市としての補助が必要</li> <li>・金額、助成が必要</li> <li>・値段、環境、行政の補助市としては、将来レアメタル（特にレアアース）の研究を太陽光パネル、蓄電池の縮小化を図り、住みより生活改善の一環としたらどうか</li> <li>・集合住宅の場合。</li> <li>・マンションはどうするのか疑問だから。</li> <li>・マンションの場合、後付け設置が難しい。</li> <li>・マンションでの設置に対応した太陽光パネルが欲しい。</li> <li>・マンションなどだと選択肢が限られる</li> <li>・価格、工事など既存建築物にどのように普及させるか？</li> <li>・一戸建ては難しくないが（特に新築）、集合住宅や既存の雑居ビルの場合、安全性や費用負担、利益配分の問題の解決が困難。</li> <li>・どこに設置を依頼すればよいかわからない。</li> <li>・住宅への後付けで屋根からの雨漏れなど問題ないか心配。</li> <li>・これだけ密集した住宅地で太陽光パネルを設置したら別の問題が起ころうな気もするので（鳥への影響、屋根の耐震性、地震被害、光の反射など。）</li> <li>・既存家屋の場合は設置できるか否かの判断も必要で、さらに設置となると多額の出費が必要となり、技術的/経済的支援がないと難しい。</li> <li>・ソーラーパネルに対しての情報が錯綜している。</li> <li>・知りうる範囲では、あまり期待できないから。</li> <li>・値家の立地条件により発電量が違う、廃棄の条件が整っていない</li> </ul>
行動 30 節電する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業行政にも協力してもらう必要があるから。</li> <li>・事業者への規制を求める</li> <li>・商業施設の照明を夜間は消すルールを作るといいと思う。</li> <li>・程度によると思うが厳しすぎるのは非現実的であると思う。</li> <li>・程度の差はあれ、節電は可能なはず。</li> <li>・意図的な節電よりも効率向上が持続可能性が高いと思われます。</li> <li>・どこまでやるかは、個人次第だから</li> <li>・個々の事情があるから。</li> <li>・省エネ型家電は高価である</li> </ul>
行動 31 節水する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな行動をすれば良いか分からないから。</li> <li>・多くの市民に「水の学校」の啓発効果を訴求しなければならない</li> <li>・判断が個人に委ねられるから</li> <li>・個々の事情があるから。</li> <li>・水道はひねるとジャーではないことを意識すれば良い</li> </ul>
行動 32 省エネ家電に買い替	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コストがかかる</li> <li>・初期コストが高くて、販売店の騙し売りが強いので市からの規制や支援が必要でしょう。</li> <li>・費用対効果の問題で、総じて省エネ家電は高価であるから</li> <li>・高いから。</li> </ul>

<p>える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ家電→操作難しそう→若い家族しか使わない<b>経済的</b>余裕がある人ばかりでないから。</li> <li>・省エネ家電は<b>高いし大型のものが多い</b>、わざわざ買い替えれば資源の無駄遣いになりかねない。</li> <li>・<b>単身者向けの省エネ家電</b>（小さい冷蔵庫など）に<b>選択肢が少ない</b></li> <li>・<b>所得格差</b>があるので、簡単にいかない</li> <li>・無理して買い換える必要はないが、耐用年数を過ぎたものは、買い替えを検討すべき。</li> <li>・買い換えのときが来たら。使えるものを捨てなくて良いと思う</li> <li>・支出を伴う話なので、推進するなら何か分かりやすい<b>メリット</b>がないと難しい</li> <li>・家電製品が高額になっていることと、<b>壊れるまでは買い替えは通常行わない</b>ため</li> <li>・買い替え時の<b>選択</b>として、特に問題なし。</li> <li>・省エネ家電→操作難しそう→若い家族しか使わない<b>経済的</b>余裕がある人ばかりでないから。</li> </ul>
<p>行動 33 電力を可視化する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>コスト</b>がかかるから。</li> <li>・可視化の方法によっては、<b>技術的/経済的支援</b>が必要である。</li> <li>・これを取り組んでも<b>インパクト</b>が低いでしょう。</li> <li>・可視化して何をすることが<b>明確ではない</b>のでは？</li> <li>・電力使用量<b>データの収集が困難</b> 無線などで情報を収集できるが、データ転送装置の設置場所によってはデータを転送できない場合がある。電力使用量データの信ぴょう性を示すのが困難では。</li> <li>・可視化する<b>方法がわからない</b>ので</li> <li>・<b>仕組みがわからない</b>人も多いと思うから。</li> <li>・やり方よくわからない</li> <li>・正しく可視化する<b>仕組み</b>がある前提</li> <li>・可視化<b>ツールの整備</b>が十分ではない。</li> <li>・電力の使用状況は現状でも把握できるが、<b>即時性がない</b>。また、使用に対応した供給サイドの<b>再生エネルギー構成</b>については、<b>把握する手段がない</b>。</li> <li>・市内をさらに細かいエリアに分けて成果を競わせたら良いと思う</li> <li>・その時々<b>の電力消費量の可視化</b>と思うが、技術的には極めて容易で安価にできるが、設置してもそれほど<b>活用されない</b>。</li> <li>・行政や電力会社が進めるような<b>制度</b>でないと、市民の自発性に頼るだけでは進まない。</li> <li>・機器の設置が必要</li> <li>・可視化の方がまだまだ難しいと思う</li> </ul>
<p>行動 34 窓や壁などの家の断熱リフォームを行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>コスト</b>がかかる</li> <li>・<b>高価</b></li> <li>・リフォーム<b>コスト</b>がかかる。</li> <li>・それぞれの家庭の<b>財政的な余力</b>によるため。</li> <li>・<b>コスト</b>がかかる（長期的に見てコストダウンするという理解が必要）<b>お金</b>がかかるため市としての<b>補助</b>が必要</li> <li>・<b>お金</b>がかかる</li> <li>・費用対<b>効果</b>の問題があります</li> <li>・<b>金額</b>。助成が必要</li> <li>・購入費用が掛かる</li> <li>・支出を伴う話なので何か<b>メリット</b>がないと難しい</li> <li>・<b>経済的</b>余裕がある人ばかりでないから。</li> <li>・リフォームにかかる<b>費用</b>が高額だから、<b>経済的</b>メリットはほとんどない、または実感できないから</li> <li>・<b>お金</b>がかかる</li> <li>・工法別の<b>効果</b>の判定については<b>技術的支援</b>が不可欠であり、実施に際しては<b>経済的支援</b>が必要となる。</li> <li>・<b>環境、行政の補助</b></li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・断熱を後付けするのは大変な<b>手間と費用</b>が掛かる、新築の際に努力目標を設定すれば良い</li> <li>・<b>賃貸者</b>にとっては工務店・大家に依存するため。</li> <li>・無理に家を安く建てたいハウスメーカーを行政から<b>規制</b>する必要があるが、効果が極めて高いと思われます。</li> <li>・<b>制度的なインセンティブ</b>の整備が必要と考えるため。</li> <li>・各家庭事情が違う</li> <li>・<b>所得格差</b>がある</li> <li>・<b>既存住宅</b>への対応</li> <li>・断熱リフォームを<b>どこに依頼すればいいのかわからない</b>。</li> <li>・特に既存の一軒家では1か所をやればよいというものではないので、結局<b>大規模なリフォームになりがち</b>で簡単には行えない</li> <li>・窓のタイプによっては、<b>交換が難しい</b>、断熱フィルムを貼るくらいしかできない。</li> <li>・<b>費用、取り付け可能性、優良業者の選択</b>など、困難が多い。北向きの寝室の内窓については有効で困難が少ない。</li> <li>・建てた家を売却する<b>メリット</b>があまりにも少ない法律</li> </ul>
<p>行動 35</p> <p>環境に配慮した省エネ住宅に住む（分譲・賃貸）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市からこの住宅を建てやすくして、建てても良い地域を<b>増やす</b>必要があります。</li> <li>・まずはそういった住宅を<b>増やす</b>ことから始めなければならないため時間がかかるように思った</li> <li>・「環境に配慮した省エネ住宅」の<b>提供が少ない</b>ので、選択できない</li> <li>・<b>モデルケースが少ない</b></li> <li>・対策施策として<b>助成制度</b>を創設し PR が必要</li> <li>・みんなできれば省エネ住宅に<b>すみたいが金銭的な理由</b>が大きいので本当に広めるべきと市が考えているなら<b>助成</b>が必要</li> <li>・<b>所得格差</b>がある</li> <li>・<b>費用対効果</b>の問題だから</li> <li>・<b>購入費用</b>が掛かる</li> <li>・<b>高価</b></li> <li>・<b>経済的余裕</b>がある人ばかりでないから。</li> <li>・<b>金額</b></li> <li>・<b>お金</b>がかかる</li> <li>・<b>費用</b>が掛かる、現行でも断熱材はかなり使用されている。</li> <li>・環境に配慮した省エネ住宅は現状多くない高断熱・省エネ住宅は割高であり、低価格・低品質のデベロッパーの住宅を選んでしまう傾向が強い。</li> <li>・省エネ化のコストアップを上回る<b>メリット</b>の提示が不可欠。</li> <li>・制度的な<b>インセンティブ</b>の整備が必要と考えるため。</li> <li>・現状、賃貸物件を探す際に基準がないため、武蔵野市独自の<b>評価・認証制度</b>を作る必要がある。そのような物あれば、それを基に環境に配慮した住宅を選ぶ人は多いと思うし、今まで関心がなかった人に興味を持ってもらうきっかけにもなると思う。</li> <li>・購入者や借主は、購入資金や賃貸料金の負担があるので一般には難しい。むしろ家主や分譲業者に省エネ住宅を建てさせる<b>施策</b>を講ずるべき。</li> <li>・住み替え時の選択において、特に問題はない。</li> <li>・行政と業者が積極的に取り組まない限り、<b>賃貸人に選択の余地がない</b>。</li> <li>・今から 20～30 年後の基準（断熱等性能等級 6 以上）に適合する家づくりを目指す</li> </ul>
<p>行動 36</p> <p>緑のカーテンなど、家を緑化する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施が比較的楽ではあるが、<b>インパクトは低い</b>でしょう。</li> <li>・<b>コスト</b>がかかるのと<b>メンテナンス</b>に手間暇がかかる</li> <li>・<b>害虫駆除や維持管理</b>が難しい印象がある</li> <li>・<b>趣味</b>の問題だから</li> <li>・<b>マンション</b>のため、植物の育成環境が十分ではない。</li> <li>・<b>マンション</b>などだと<b>選択肢</b>が限られる</li> <li>・どの程度の<b>効果</b>があるのかわからないから。</li> </ul>

・ 建ぺい率 4 割で駐車場を取った緑化の場所は少ない
-----------------------------